

## 2 藤沢市教育振興基本計画の進捗状況

### 平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業内容	担当課	担当部	教育指導課
112	国際教育推進事業	国際教育推進事業		教育部	教育指導課
		事業目的 ・広く国際的な視野に立つて物事を考え、行動できる児童生徒の育成 ・外国語教育・外国語活動の指導の充実			変更(ある場合)
		事業内容 ・業務委託により外国語指導講師(FLT)を派遣し、小学校外国語活動(5・6年)及び中学校外国語(英語)の授業を支援する。(小・中) ・国際理解を深めるために国際理解協力員を派遣し、外国語や異文化に触れる体験の充実を図る。(小1～4・特) ・小学校外国語活動支援員を派遣し、小学校外国語活動の授業を支援する。(小学校からの要請) ・日本語指導員を派遣し、日本語指導の必要な外国籍児童生徒に対して、日本語学習及び学校生活への適応を支援する。(小・中・特・学校からの要請) ・国際教育担当若者を委嘱し、情報交換、調整、研修等を行う。			
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度		
		予算額(千円)	79,423	→	→
		決算額(千円)	78,893		
		執行率(%)	99.3		
		年度末の成果	FLTの小中学校への派遣日数3,040日 国際理解協力員小1～小4と特別支援学級へ各2時間派遣、特別支援学校は各1時間派遣。 小学校外国語活動支援員は220時間派遣。 日本語指導員4,343時間派遣。 日本語指導員は、中学校は、英語教育担当者と併せて、小学校に比べ内容が薄い。		
		評価	H27年度の総合評価 B		
		評価の理由	・人的配置に関しては概ね良いが、活用方法に関しては小・中学校ともに見直す必要がある。 ・国際教育に関しては、小・中学校で情報共有したり、方法を考えたりする場が必要であるため、担当者の持ち方を考える必要がある。 今後の方向 ・人的支援の活用方法に関しては、今年度同様とするが、近隣の市町とも密に連絡を取り、得られた情報からより効果的な方法を探る。 ・国際教育に関しては、小・中学校で情報共有したり、方法を考えたりする場が必要であるため、担当者を小中合同で行う。		
		事業計画	H28年度事業計画 ・FLTの派遣(小・中学校) ・国際理解協力員の派遣(小・特別支援学校) ・日本語指導員の派遣(小・中・特別支援学校) ・国際教育担当若者の委嘱(小・中・特別支援学校) ・小学校外国語活動支援員派遣の実施(小学校) ・夏李外国語講座の実施(小・中・特別支援学校希望)		

### 平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業内容	担当課	担当部	教育指導課
111	教育課程推進事業	教育課程推進事業		教育部	教育指導課
		事業目的 ・学習指導要領に則り、各学校において、学校や地域の環境を踏まえた創意工夫ある教育課程の実施のため、特色ある教育課程を編成すること。 ・「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、より、実りある教育の実践を行うことができる。			変更(ある場合)
		事業内容 ・各教科等における実りある教育の実践への支援を行う。 ・「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化への支援を行う。			
		● 学校運営推進業務委託事業			
		実施	→	→	→
		予算額(千円)	11,998		
		決算額(千円)	11,773		
		執行率(%)	98.1		
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	市立55校(全校)で実施 指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教員の整備を行った。 学校の特色や課題を捉えた先進的な研究実践を小学校11校、中学校7校、特別支援学校1校で実施した。 獣医師による飼育動物診察及び飼育指導を小学校7校で実施した。 ・社会科資料集「ふじさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。 ・小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。 ・各小学校の一つの学年の児童(計3,222人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。		
		年度末の成果	H27年度 進捗状況(今年度の初年・成果) ・市立55校(全校)で実施 ・指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教員の整備を行った。 ・学校の特色や課題を捉えた先進的な研究実践を小学校11校、中学校7校、特別支援学校1校で実施した。 ・獣医師による飼育動物診察及び飼育指導を小学校7校で実施した。 ・社会科資料集「ふじさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。 ・小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。 ・各小学校の一つの学年の児童(計3,222人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。		
		評価	H27年度の総合評価 B		
		評価の理由	・予算の執行が計画通り行われた。 今後の方向 学習指導要領の趣旨を踏まえ、今後においても「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った教育活動を実践するために事業の継続を行う。		
		事業計画	H28年度事業計画 ・教育課程推進支援 ・小学校3校における防災教育の実施 ・学校の特色や課題を捉えた研究実践の支援 ・獣医師住診の実施 ・社会科資料集「ふじさわ」の作成 ・プラネタリウム学習投影の実施		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
113(314)	学校ICT機器整備事業(情報教育)	教育部	学校教育企画課					
<p>事業目的 教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン技術)の習得等)の推進</p> <p>事業内容 学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていることに伴い、藤沢市教育情報推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童生徒の学習の多くの場において教育情報機器を活用した学習の充実を図る。</p>								
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育情報機器利用検討委員会(年4回)</li> <li>●小・特別支援学校情報教育担当者会(年2回)</li> <li>●中学校情報教育担当者会(年2回)</li> <li>●小・中・特別支援学校教員指導者研修</li> <li>●情報モラル教育の授業支援・研修対応</li> </ul>				→	→	→	→	→
予算額(千円)	386,998	376,811						
決算額(千円)	383,076							
執行率(%)	99.0							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>各会議を予定どおり開催した。研修については、年間5回参加者90名。情報モラルについては、年間30日のべ71回。</p>				H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H27年度の 総合評価		次年度 継続
<p>・藤沢市教育情報推進計画を策定し、平成27年度2月教育委員会にて了承された。</p> <p>・今後の教育の情報化に対する基本計画が策定されたことにより、より計画的に情報教育の推進を図ることができるようになった。</p> <p>・各種会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。</p> <p>・研修の内容を工夫し、研修者がより授業での活用イメージを持ちやすくなる構成とした。</p> <p>・情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取り組んだ。</p>				<p>・予定通り会議、研修を開催できた。</p> <p>・研修の参加者が、各校1名以上確保できた。</p> <p>・情報モラル教育に取り組む学校が増えた。</p>		B		
<p>評価の理由</p> <p>・情報教育に限らず、ICTを活かすことで、様々な教育の質の向上に資する取組を計画していく。</p> <p>・教員が授業で活用したくなる状況を作り出し、いくために、研修の充実と整備の促進の両面で取り組んでいく。</p>				今後の方向				
<p>H28年度事業計画</p> <p>・各種会議を計画通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図っていく。</p> <p>・より授業で活用しやすい内容の研修に改善していく。</p> <p>・情報モラル教育が、全ての市立学校で積極的に取り組めるよう、情報提供ならびに授業支援等の取組を推進する。</p>				H28年度事業計画				
<p>課題・問題点</p> <p>・研修内容については、より授業で活用しやすい実践的な内容とすることで、参加人数を増やし、授業での活用がより広がるよう年度ごとの改善に努める。</p> <p>・情報モラル教育については、学校によって取組の差があるため、取組の進んでいる学校への支援を進める必要がある。</p>				H28年度事業計画				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
121	各教科研究研修関係事業	教育部	教育指導課					
<p>事業目的 教員の資質と教育の質の向上</p> <p>事業内容 ・各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市小中教育研究会における教育研究の充実を図るための支援を行う。</p> <p>・藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、新規採用教員及び教職1、2、3、4、12年経験者の研修会を開催する。</p>								
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育研究委託</li> <li>●教育研究推進校委託(小6校・中3校)</li> <li>●経験者研修</li> </ul>				→	→	→	→	→
予算額(千円)	17,993	19,129						
決算額(千円)	17,987							
執行率(%)	99.9							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>藤沢市教職員人材育成基本方針に則り、教職12年経験者数に応じた研修を実施した。</p>				H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H27年度の 総合評価		次年度 継続
<p>・各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。</p> <p>・研究推進校へ指導者訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。</p> <p>・初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。</p> <p>・20年経験者研修に替わり、新期に、ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。</p> <p>・小・国際教育担当者会、校内研究推進担当者会、小学校児童指導担当者会、学校安全担当者会、校内支援担当者会、人権・環境・平和担当者会、食育担当者会、幼保小中連携担当者会、いじめ防止担当者会、学校事故防止担当者会など各種担当者会において研修を行った。</p>				<p>・各研究会、研修会を計画通り行い、教員の資質と教育の質の向上に努めることができた。</p>		B		
<p>評価の理由</p> <p>・藤沢市立学校教育職員人材育成基本方針に基づき、経験の浅い職員の研修充実と中堅職員の育成推進を図る。特に、ミドルリーダー研修(12年経験者研修)については、学校運営への参画意識を高めるために、内容の充実と検討を行う。</p>				今後の方向				
<p>H28年度事業計画</p> <p>・各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市立小中学校教育研究会等において教育研究事業の研究を行う。</p> <p>・初任者研修及び教職1,2,3,4,12年経験者の研修会を開催する。</p> <p>・各担当者会等で研修を行い、意識の向上に努める。</p>				H28年度事業計画				
<p>課題・問題点</p> <p>・授業時間数増や業務多忙に伴い、研修時間の確保が課題である。引き続き研修の方法等、工夫改善を図る必要がある。</p> <p>・新規に実施したミドルリーダー研修(12年経験者研修)については、28年度以降、対象者が急増するので、研修内容も含め、研修会の持ち方を検討する必要がある。</p>				H28年度事業計画				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
122(812)	教育文化センター研究研修事業	教育部	学校教育企画課					
	事業目的	教育文化センターの向上を目指す、今後の指導及び教育活動の充実を図る。						
	事業内容	本市の教育及びこれに係る文化の振興に関する専門的、技術的事項の研究調査を行う。 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、教育関係職員に対して研修講座及び授業研究会等を実施する。 (研究部会の開催・研究紀要の発行・研修講座の開催・教育情報の提供)						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
		参加者数 約2,300人 満足度 平均4以上	→	→	→	→	2,300人以上 平均4以上	
	予算額(千円)	39,259	37,757					
	決算額(千円)	38,706						
	執行率(%)	98.6						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	参加者総数3,326人 研究部会110回実施 研修講座64本開催 研究紀要・教育情報誌発行						
	度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究部会(全110回) <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課題研究部会 12回 研究紀要発行</li> <li>国語科研究部会 13回 研究紀要発行</li> <li>社会科研究部会 13回 研究紀要発行</li> <li>算数・数学科研究部会 12回 研究紀要発行</li> <li>理科研究部会 12回 研究紀要発行</li> <li>外国語活動・英語科研究部会 11回</li> <li>防災と自然研究部会 14回 研究紀要発行</li> </ul> </li> <li>教育実践臨床研究部会 11回 研究紀要発行</li> <li>研修講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般研修 7講座 専門研修 66講座</li> <li>土曜研修講座 11回</li> <li>第11回学習意識調査の実施、集計・分析</li> </ul> </li> <li>教育情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふじさわ教育」編集委員会 3回</li> <li>「ふじさわ教育」第168号、169号、170号発行</li> <li>「教育文化講演会」</li> <li>「読がやる気なだす読者の心理学」</li> </ul> </li> <li>日本女子大学・教授 竹内 龍人氏 8/5</li> <li>藤沢市総合会かかく展 開催10/15～10/20 入賞者表彰式 10/17</li> <li>運営委員会 3回</li> <li>原重・生徒研究集録(第33集)発行</li> <li>研究報告会 開催 3/28</li> </ul>						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の研究課題や現場の二つの把握に努め、さらなる活用も検討していく。</li> <li>ふじさわ教育や教育文化講演会の内容の更なる充実や、藤沢市総合会かかく展のより効果的な運営に向けて、検討する。</li> <li>研究活動が部会ごとにとどまらず、9つの研究部会が、互いの課題を共有したり、授業セミナーに参加したりし合うなど、相互に研究を深める。</li> </ul>						
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の今日的課題について検討を行い、その現状や実態を調査研究し、課題を明らかにする。</li> <li>研修講座では、授業づくりに重点を置いた内容を増やす。</li> <li>日々の教育実践に必要な教職専門者としての研修を行い、教師の力量を養って、教育の質的向上を図る。また研修の一環として、学校からの要望により、学校支援を行う高めるための基礎的な研修内容の充実を図る。</li> <li>学校の教職員人材育成の取組を支援し、個々の指導力向上や組織的な学校運営の構築等を支援する。</li> <li>経験の浅い教職員を対象とした土曜研修講座の開催を増やす。</li> <li>研究の成果や教材、調査の結果等を広く市内外の教職員等に発信する。</li> <li>事業内容について、教育委員会各課等との連携を深める</li> </ul>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
131	教育指導事務事業(計画訪問・要請訪問)	教育部	教育指導課					
	事業目的	指導主事の学校訪問により、学校の教育力や教員の指導技術・指導力の向上を図る。 ・学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の円滑な運営のため学校教育指導計画を作成し、指導主事による教育指導と学校問題解決支援員による学校支援を行う。</li> <li>・指導主事による計画訪問と要請訪問を行う。</li> </ul>						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
		小学校 12校 中学校 7校 中・特別支援学校 7校	小学校 12校 中学校 7校	小学校 13校 中学校 6校	小学校 10校 中・特別支援学校 7校	小学校 12校 中学校 7校		
	度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> <li>・H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> </ul>						
	予算額(千円)	13,613	13,443					
	決算額(千円)	13,040						
	執行率(%)	95.8						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	学校の教育力・教員の指導力の向上を図らな						
	度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> <li>・H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> </ul>						
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> <li>・H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校 中学校6校 特別支援学校1校)</li> <li>・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>・学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul> </li> </ul>						





平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	環境教育推進事業	担当部	環境部
145			担当課	環境事業センター
		事業目的	変更(ある場合)	
<p>保育園・幼稚園の幼児期や小学校4年生の学習期から環境教育を実施することにより、循環型社会に対する意識の向上を図る。</p>		<p>事業内容                      ・ごみの排出抑制や減量、再利用、再生利用の推進を図るため、小学校4年生や保育園・幼稚園を対象としたごみの減量・資源化のため、実際に塵芥収集車を持ち込み啓発教育事業を行う。                      ・小学校36校(私立小学校1校を含む)、保育園・幼稚園</p>		
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●小学校・保育園・幼稚園啓発教育事業</p> <p>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</p>		
予算額(千円)	81	81		
決算額(千円)	0			
執行率(%)	0.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	小学校 36校、3,780人、保育園・幼稚園 24園・1,696人			
<p>年度末の成果</p>		<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することと、ごみの分別等の意識の向上が図られた。</li> <li>・保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施。</li> <li>① コミュニケーションロボット【バルロ】を3園で使用。</li> <li>② 着ぐるみを使用した寸劇での説明。</li> </ul> <p>・学校や保育園・幼稚園での先生との意見交換を実施し、効果的な啓発事業を実施。</p>	<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおりの事業を行うことができた。</li> <li>・事業実施参加数も昨年度に比べて増加し、内容も充実しており、事業が進展していると考えられる。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高校・大学に事業を拡大し、ごみの減量・資源化の必要性を繰り返し啓発する。</li> <li>・小学生から質問の多い内容を、【ごみのなぜ】をテキスト化して配布し一層の啓発を図る。</li> </ul>	
<p>課題・問題点</p> <p>・ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。</p>		<p>H28年度事業計画</p> <p>・コミュニケーションロボットを活用した事業展開を図る。</p> <p>・「ごみのなぜ」のテキスト化を実施する。</p>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	いじめ暴力防止対策事業	担当部	教育部
146			担当課	教育指導課
		事業目的	変更(ある場合)	
<p>いじめや体罰に対する未然防止や早期発見・対応を図り、児童生徒が安心して安全な学校生活を送ることを目指す。</p>		<p>事業内容                      ・平成27年4月施行の「藤沢市子どもをいじめから守る条例」に基づき、いじめ防止対策を推進する。                      ・「いじめ防止プログラム」「いじめ防止教室」を実施し、いじめの未然防止を図る。                      ・「いじめ相談ホットライン」「いじめ相談メール」を通して、児童生徒・保護者からの相談に対応する。                      ・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーを配置し、学校からの要請に対応する。                      ・「いじめ防止啓発リーフレット」を作成し、新入学児童の家庭に配付する。</p>	<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●いじめ防止プログラム・いじめ防止教室                      ●いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの学校訪問                      ●新入学児童の家庭に「いじめ防止啓発リーフレット」配付</p>	
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>実施</p> <p>●条例解説リーフレットを市立小・中・特別支援学校の全児童生徒に配付</p>		
予算額(千円)	15,184	14,296		
決算額(千円)	13,475			
執行率(%)	88.7			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	小学校5校、中学校9校で実施(いじめ防止プログラム)		<p>H27年度の総合評価</p> <p>B</p> <p>評価</p> <p>次年度</p> <p>継続</p>	
<p>年度末の成果</p>		<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」を平成27年4月1日施行し、6月30日には条例制定記念講演会を開催した。</li> <li>・「条例リーフレット」を作成配付した。</li> <li>・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーは、学校相談9校、いじめ関係学校相談22回、いじめ関係以外学校相談11回、研修会 22回、生徒会訪問3校、等の活動をした。</li> <li>・「いじめ相談ホットライン」は24時間365日体制で「いじめの相談を受け付け、いじめ相談メールと併せて開設している。</li> <li>・いじめ防止プログラムを小学校6校、中学校9校、いじめ防止教室を小学校9校、中学校4校で実施した。</li> <li>・平成28年1月23日に「いじめ1stopt」いじめ1中学生の集いinふじさわを開催した。</li> <li>・小学校1年生保護者向け、小学校4年生向け、中学校1年生向けに「いじめ防止の啓発リーフレット」を作成配付した。</li> <li>・藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を4回開催し、本市のいじめ防止対策の方向性を検討した。</li> <li>・体罰の事態を把握するとともに、未然防止の目的で体罰調査を実施した。</li> </ul>	<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止プログラム」実施校においては、「児童生徒による自治的活動として定着しており、創意工夫ある取組が展開されている。</li> <li>・体罰調査の実施により、年々体罰の報告件数は減少している。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校においては、「いじめ防止プログラムの他に児童会や生徒会を中心に独自のいじめ防止対策を実施していることから、本プログラムの実施にこだわることなく、各校の取組を尊重する上で、実施を希望する学校に対して提供していく。</li> </ul>	
<p>課題・問題点</p> <p>・「いじめ防止プログラム」の実施には至5時間かかるため、教育課程を編成する上で実施時間の確保が難しい。</p> <p>・いじめ相談ホットラインにかかってくる相談者の特定が難しく、特定できた際にも相談者の思いを上回る学校に伝えられない場合がある。また、目的外利用と思われる相談者もいる。</p>		<p>H28年度事業計画</p> <p>・「いじめ防止プログラム」については、14校、いじめ防止教室については、8校で実施予定。</p> <p>・いじめの啓発リーフレットはこれまで同様の3種の作成と、藤沢市子どもをいじめから守る条例啓発リーフレットを作成配付し啓発に努める。</p>		



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育指導課																				
152	学校教育相談センター事業	担当課	教育指導課																				
<p>事業目的                      支援相談の必要な児童生徒や保護者が必要な時に相談を受けることができる環境を整備し、一人ひとりが楽しく学校へ通うことができるよう、相談体制の充実を図る。</p> <p>事業内容                      ・不登校児童生徒への相談支援                      ・スクールカウンセラーを全小中学校へ週1日配置                      ・次年度就学予定児に対する就学相談活動                      ・相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談                      ・スクールソーシャルワーカーの学校への派遣                      ・特別支援教育専門カウンセラーによる学校巡回                      ・関係各課と連携した相談活動</p>																							
<p>年次ごとの取組計画                      (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20人</td> <td>21人</td> <td>25人</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>→</td> <td>3人</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="5">                     (※1人増員)                      ●相談窓口のワンストップサービス                 </td> </tr> </tbody> </table>				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	20人	21人	25人	→	→	2人	→	3人	→	→	(※1人増員) ●相談窓口のワンストップサービス				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																			
20人	21人	25人	→	→																			
2人	→	3人	→	→																			
(※1人増員) ●相談窓口のワンストップサービス																							
<p>予算額(千円) 148,359</p>																							
<p>決算額(千円) 142,077</p>																							
<p>執行率(%) 95.8</p>																							
<p>年次ごとの取組計画                      (年次ごとの目標値)                      相談体制の充実                      スクールカウンセラー 20人                      スクールソーシャルワーカー 2人</p>																							
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・支援相談の必要な児童生徒や保護者が、必要な時期に必要な場所ですべて支援が受けられるよう、学校及び相談センターでの相談活動の充実を図った。                      ・スクールカウンセラーの配置を、小学校の大規模校5校については2日、8校については1.5日の配置とした。                      ・スクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制により相談活動の充実を図った。                      ・就学相談員による相談活動、就学支援委員会を通して、きめ細やかな就学相談を行った。                      ・相談支援教室において、集団適応指導及び児童生徒保護者相談を行い、不登校児童生徒の支援の充実を図った。</p>																							
<p>評価の理由                      ・相談活動の活用が進み早期の対応により改善が図られ、相談活動の充実につながった。                      ・相談内容の複雑化、相談件数の増加等に伴い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの対応が十分にできない場合もある。</p> <p>今後の方向                      ・スクールカウンセラーの人員の増員について検討をしていく。</p>																							
<p>H28年度 事業計画                      ・スクールカウンセラーの配置(小学校17校)                      (特別支援教育専任スクールカウンセラーを配置)                      ・次年度就学予定児に対する就学相談活動                      ・就学支援委員会での就学相談活動                      ・就学相談員との連携                      ・学校教育相談センターでの電話相談・来所相談                      ・相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談                      ・スクールソーシャルワーカーの学校への派遣                      ・特別支援教育関係の講演会、研修会の開催</p>																							

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育指導課																				
153	児童生徒指導関係事業	担当課	教育指導課																				
<p>事業目的                      ・市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。                      ・不登校児童生徒及びその保護者を対象に各種の取組を行う。                      ・関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。                      ・学校教育相談センターでの相談支援を行う。</p> <p>事業内容                      ・不登校児童生徒及びその保護者を対象に各種の取組を行う。                      ・関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。                      ・学校教育相談センターでの相談支援を行う。</p>																							
<p>年次ごとの取組計画                      (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table> <p>●不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」</p>				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	0	0	→	→	→	0	0	→	→	→	0.0	0.0	→	→	→
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																			
0	0	→	→	→																			
0	0	→	→	→																			
0.0	0.0	→	→	→																			
<p>予算額(千円) 0</p>																							
<p>決算額(千円) 0</p>																							
<p>執行率(%) 0.0</p>																							
<p>年次ごとの取組計画                      (年次ごとの目標値)                      不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」に対するH27年度末の成果                      参加者総数(28人)</p>																							
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>第1回7月22日(6名)                      第2回9月28日(4名)                      第3回12月1日(12名)                      第4回2月19日(6名)                      回数4回に増やしたことで、1回の参加人数が少なくなり、本来の目的である保護者が「おしゃべり」をしやすくなり、本来の目的である時期になるからか参加者が多いと感じた。</p> <p>評価の理由                      ・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につながっていると考えられる。</p> <p>今後の方向                      ・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応されるよう、内容・形式の工夫改善を図りながら継続していく。</p>																							
<p>H28年度 事業計画                      ・年4回(7月、9月、12月、2月)開催予定。</p>																							

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部
154	教育指導事務事業 (学習指導員による補修授業)	教育指導課	教育指導課	教育指導課
事業目的 ● 中学校学習支援事業				
<p>学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。</p> <p>生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、「学習指導員」による補修授業を行う。</p>				
事業内容				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
● 中学校学習支援事業				
実施	→	→	→	→
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	3,211			
決算額(千円)	2,927			
執行率(%)	91.2			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	中学校全19校で実施 総時間数・2,698時間			
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・市立中学校全19校で実施 総時間数、2,698時間</p> <p>・学校が生徒のニーズに応じて学習指導員をより有効に活用できるよう要綱を改正した。</p> <p>・全中学校での実施が3年間続き、補習授業の指導体制が整ってきた。放課後、定期的に学習できる場があることで、基礎的な学力を定着させる機会となった。</p>			
	<p>・年次計画どおり全校で実施することができた。生徒の基礎学力の定着の面で成果をあげている。</p>			
	<p>今後の方向 ・各学校の状況にあわせて、柔軟に対応しながら、生徒の基礎学力の確実な定着につなげていきたい。</p>			
	<p>H28年度事業計画 ・学習指導員の選任(学校長) ・学習指導員による放課後、長期休業中の学習支援</p>			
	<p>課題・問題点 ・年間を通して計画的な支援ができるように、学習指導員を確保する。 ・学習会について生徒に周知し、希望する生徒が参加できるように運営する。</p>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部
155	子ども発達支援事業	子ども発達課	子ども発達課	子ども発達課
事業目的 ● 子どもサポートファイル配付				
<p>関係機関の連携を図られることにより、障がい児等がライフステージに応じた適切な支援を受けることができる。</p> <p>障がい児や発達障がい児等が、ライフステージに応じた一貫した支援を受けられるようにするため、ネットワークの形成や情報共有を図るための子どもサポートファイルの普及・活用の推進を行う。</p>				
事業内容				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
● 子どもサポートファイル配付				
配付数 120冊	→	→	→	→
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果				
予算額(千円)	1,686			
決算額(千円)	1,615			
執行率(%)	95.8			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	子どもサポートファイルの配付数120冊			
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・障がいのある、または特別な支援が必要な子どもに対して、ライフステージの変わり目となる年長児のタイミングや就学相談の中で、子どもサポートファイルを配付した。</p> <p>・子どもサポートファイルの内容について検討をおこない、記載内容やサイズ等の見直しを図った。また、新たに携帯版の作成を行った。</p>			
	<p>・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイル配付することができたため。</p>			
	<p>今後の方向 ・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイルを広く普及させたい。</p>			
	<p>H28年度事業計画 ・子どもサポートファイルの必要性について広く周知する。 ・携帯版については、H28年度からの配付となるので、H28年度以前に子どもサポートファイルを配付した方については希望者に配付を行う。</p>			
	<p>課題・問題点 ・子どもサポートファイルの必要性について、保護者のみでなく、支援者や協力者にも広く周知する。</p>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
161	教育課程推進事業(キャリア教育)	教育部 教育指導課					
<p>事業目的 学習指導要領に則り、各学校において、学校や地域の特色を踏まえた創意工夫ある教育課程実施のため、特色ある教育課程を編成する。 「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、より、実りある教育の実践を行うことができる。</p> <p>事業内容 ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ・中学校において、職場体験を実施する。 ・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。</p>							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)			→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0					
決算額(千円)	0						
執行率(%)	0.0						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果		市立全中学校(19校)で職業調べを行った。 市立全中学校(19校)で職場体験学習を行った。 小学校でも職業調べを行い、職業に関する意識を高めた。	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を実施し、児童生徒の職業に対する意識を高めることができた。</li> <li>・希望する学校には産業労働課が「職人」を派遣し、職業に関する講義を開講し、職人の技を児童生徒が間近で見ることができた。</li> </ul>				
H27年度末の成果			<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学校も、計画どおりに事業を進めている。</li> <li>・キャリア教育を踏まえた教科横断的な学習を行い、内容を深めている。</li> </ul>				
H27年度末の成果			<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域が連携協力してキャリア教育を推進していただけるよう、支援していく。</li> <li>・キャリア教育に関する情報提供に努める。</li> </ul>				
H28年度事業計画			<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校それぞれでの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。</li> <li>・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。</li> <li>・中学校において、職場体験学習を実施する。</li> <li>・希望する学校には、産業労働課から市内の職人を派遣依頼し、職業教育に関する実演などを行い、児童生徒の意識を高める。</li> </ul>				
課題・問題点			<p>・職場体験学習の体験先の確保。 ・体験先が食品・介護・保育関係のとき、衛生面における事前の検査はとまですべきか、その費用。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
162	技能職体験事業(学校訪問・職場体験実施)	経済部 産業労働課					
<p>事業目的 小学生を含めた若年者に対して、継続された技能を披露し、実際に体験してもらったことで、技能職への理解を深めるとともに、職業意識の形成を図る。</p> <p>事業内容 ・学校訪問事業：小・中学校に職人が訪問し、働くことや仕事内容の説明、実技披露を行い、実際に小中学生も体験をする。 ・職場体験：体験先の職場の確保に難航している小・中学校に対し、藤沢市技能職団体連絡協議会と連携して確保に努める。</p>							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		●学校訪問事業	→	→	→	→	→
予算額(千円)	500	500					
決算額(千円)	400						
執行率(%)	0.8						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果		小学校3校、中学校5校への訪問実施	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校訪問事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月校長会での事業周知</li> <li>・総合の時間におけるキャリア教育や社会の授業の一環として藤沢市内の小、中学校で技能職体験事業を実施した。</li> </ul> </li> <li>平成27年度訪問学校・生徒数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 3校、体験生徒数317人</li> <li>・中学校 5校、体験生徒数831人</li> </ul> </li> <li>訪問団体数 計10団体 (湘南匠技会、藤沢菓子組合、洋裁組合、神奈川土建一般労働組合、湘南建設組合、量組相南、電気工事業組合、板金工業組合、湘南内装装具師会、生花小売商協同組合)</li> <li>②職場体験の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施希望時期の振り。</li> <li>・複数団体での訪問する際の実施時間のばらつき調整。</li> <li>・職場体験の受け入れ周知。</li> </ul> </li> </ul>				
H27年度末の成果			<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問学校数、および訪問団体数ともに昨年度より増加した。また、昨年度訪問実績のなかった小学校へ訪問を実施した。</li> </ul>				
H27年度末の成果			<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会での事業周知。</li> <li>・技能職団体連絡協議会が作成した技能職紹介冊子の活用。</li> <li>・体験内容の拡充や訪問可能団体の増加を図る。</li> </ul>				
H28年度事業計画			<p>H28年度事業計画</p> <p>学校訪問事業を実施する。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当者	経済部			
163	障がい者就労支援事業(特別支援学校就労体験)	担当課	産業労働課			
事業目的 障がい者の雇用・就労に向けた支援事業等を実施することにより、障がい者の雇用・就労の促進を図る。						
事業内容 社会的自立に向けた就労体験の機会を提供するため、県内の特別支援学校の生徒を対象に職場実習を実施する。						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●職場実習					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0				
決算額(千円)	0					
執行率(%)	0.0					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	平成27年度は3校からの職場体験実習の受入を行った。					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	27年度受入生徒数 6月 藤沢養護学校 13人 白浜養護学校 3人 10月 横浜ひなたやま支援学校 4人 藤沢養護学校 16人(6月の受入生徒と重複有) このほか白浜養護学校の校内実習への業務提供もおこなった。					
評価の理由	H27年度から新たにひなたやま養護学校の受け入れを開始。 今後は庁内障がい者雇用の促進を目的に設置している「JOBチャレふじさわ」と連携し、より実践度の高い実習を実施する。					
今後の方向	養護学校の実習受入を実施する。					
H28年度事業計画	H28年度事業計画					
課題・問題点	・労働会館が閉鎖したことに伴い、生徒の受入場所の確保が課題である。 ・今年度は産業労働課執務室にスペースを確保する予定。また他課での受入も積極的に行っていただくよう声かけをする。					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当者	経済部			
164	若年者就労支援事業(若者ごと応援塾・ユースワークふじさわ)	担当課	産業労働課			
事業目的 二一やひきこもり等、困難を抱える若年者の自立・就労に向けて支援を行う。						
事業内容 中学校在籍中に不登校等で卒業後においても進路が未決定の子どもたちに対して、学校や学校教育相談センターと連携し、当該生徒やその保護者への相談や支援プログラムを実施する。						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●若年者就労支援事業					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	25,497	25,428				
決算額(千円)	25,497					
執行率(%)	100.0					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	若年者就労支援事業を実施した。					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・若年者就労支援事業受付数(199人) ・若年者就労支援事業利用者延べ人数(3,539人) ・進路決定者数(99人) ・市内4地区(尾後・善行・湘南大庭・鶴沼)で地域出張相談会を3回ずつ実施。 ・ハローワーク等との地域連絡会議を開催。 ・保護者セミナー・個別相談会を開催。					
評価の理由	受付者数、利用者数ともに昨年度に比べて増加した。また、地域出張相談会については、昨年度1回の実施だったが、4地区に拡大し、計12回(各地区3回ずつ)実施した。					
今後の方向	・事業周知のため、広報紙、ホームページ、地域の回覧板などで発信を行う。 ・地域出張相談会については、実施地区を覆えて行うなど試行実施を継続していき、さらなる潜在的ひきこもり者の掘り起こしを図る。 ・地域連携会議を定期的に行い、関係機関等と連携を図る。					
H28年度事業計画	H28年度事業計画 若年者就労支援事業を実施する。					
課題・問題点	・事業周知 ・潜在的ひきこもり者の掘り起こし ・地域の関係機関等とのネットワーク構築					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 165(243)	事業名 自立支援推進事業	担当課 担当課	福社部 生活保護課
<p>生活保護受給世帯の子ども、若者の健全育成と将来に向けた自立支援活動</p> <p>事業目的 平成27年度から生活困難者自立支援法施行に基づき、対象者を生活保護受給世帯だけでなく生活困難世帯に拡大し支援を実施した。(H28)</p> <p>事業内容 0歳から概ね20歳の子ども、若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。</p>			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●支援を要する受給世帯への個別支援</p>	
予算額(千円)	4,654	5,030	
決算額(千円)	4,654		
執行率(%)	100.0		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>支援件数 65世帯77人</p>		
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援件数 生活保護受給世帯 43世帯</li> <li>・生活困難世帯 3世帯</li> <li>・日常生活支援(子どもとその親が日常的な生活習慣を身につけるための支援)16人</li> <li>・養育支援(ひきこもりや不登校・育児不安に関する支援)43人</li> <li>・就労支援(社会性が乏しく就職活動が困難な若者に対する就労準備支援と保護者に対する就労支援) 10人</li> </ul> <p>※1人に対し他の支援との重複もあり。</p>		<p>H27年度の総合評価</p> <p>評価 B</p> <p>次年度 継続</p>	
<p>家庭訪問 81回</p> <p>家庭外訪問 10回</p> <p>電話相談 218回</p> <p>来所面談 80回</p> <p>同行支援 63回</p> <p>カンファレンス 33回</p> <p>関係者調整 108回</p> <p>研修 14回</p>		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援世帯はもとより児童相談所・関係機関との連携関係の構築により相談件数が増加し、支援の拡充につながった。</li> <li>・関係機関との連携協力をより一層強化し、より積極的な支援を展開していく。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携協力をより一層強化し、より積極的な支援を展開していく。</li> </ul>	
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。</li> <li>・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)</li> </ul>			
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援件数の増加に伴い、連携する関係機関も増加し、訪問等直接的援助のみならず、カンファレンス等の間接的な援助時間も増加しているため、学校やスクールソーシャルワーカー等をばしめとした関係者の理解を深め、連携強化を図っていく。</li> </ul>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 166	事業名 自立支援推進事業(就労支援)	担当課 担当課	福社部 生活保護課
<p>生活保護受給者の就労による自立</p> <p>事業目的 15歳から64歳までの稼働年齢層で就労阻害要因のない生活保護受給者に対し、就労支援相談員を配置し、ケースワーカーと共に、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労支援を行い、就労による自立を図る。</p> <p>事業内容 ・ただちに就労に結びつくことが困難な受給者に対しては、ユースワークふじさわ等を活用し、社会性を身につける等の就労準備支援を行う。</p>			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●支援を要する受給者に対する個別支援</p>	
予算額(千円)	4,326	4,235	
決算額(千円)	3,026		
執行率(%)	69.9		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>支援総数293人</p>		
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>平成26年12月に生活保護課に隣接する場所に設置した「ハローワーク」の常設窓口である「ジョブスポットふじさわ」や就労支援相談員、就労準備支援事業を活用・連携し、ケースワーカーが社会環境、経験やスキル等を総合的に考慮するなど、個別の寄り添い型の就労支援・就労準備支援を実施した。</p>		<p>H27年度の総合評価</p> <p>評価 B</p> <p>次年度 継続</p>	
<p>1 就労支援プログラム</p> <p>①ハローワーク連携事業支援数 194人</p> <p>②ケースワーカー・就労相談員個別支援数 172人</p> <p>※①②重複支援あり。</p> <p>就職転職等による増収に至った件数 83人</p> <p>うち生活保護廃止に至った件数 23人</p> <p>2 就労準備支援事業活用者数 14人</p>		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に寄り添い型の支援を行ったことで、一定の効果が認められた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携協力をより一層強化し、より積極的な支援を展開していく。</li> </ul>	
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクトリ」により、ただちに就労に結びつくことが困難な受給者をユースワークふじさわをばしめとした各種社会資源につなぎ就労準備支援を実施する。</li> </ul>			
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知</li> <li>・希望職種と求人との乖離</li> </ul>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 167	事業名 生活困難者自立支援事業 (就労準備支援)	担当部 福祉部	担当課 福祉総務課	
事業目的 生活困難者の就労による自立の促進を図る。		変更(ある場合)		
事業内容 64歳までの稼働年齢層で直ちに一般就労することが困難な生活困難者に対し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図るため、計画的かつ一貫した支援を行う。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●支援を要する対象者に対する個別支援				
実施	→	→	→	→
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	14,436			
決算額(千円)	14,436			
執行率(%)	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	生活困難者就労準備支援事業 支援対象者数(25名)			
度末の成果	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・社会福祉法人いきいき福祉社会・一般社団法人インクルージョ ンかつかながわ共同事業体に業務を委託し、就労に必要な 基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図った。 ※相談対応件数 延べ1,073回 ※就労に結びついたケース数 2名 ※就労体験を行ったケース数 9名 ※職場開拓・就労体験先開拓数 8団体11事業所			
評価の理由	・計画どおりの事業を行うことができた。 ・支援につなげた対象者を確実に自立に向けての支援 を行うことができた。 ・就労体験先を増やすために企業や事業所と話をを行った ことで地域との連携が進んできていると考えられる。 今後の方向 ・就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起 を図ることが必要な方への支援をするため、民生委 員や福祉窓口などとの連携等について十分な情報 交換・意見交換をしていくとともにアウトリーチによる 介入を積極的に行う。 ・就労の体験できる場の確保をするため、事業につ いての説明を行い、職場の開拓をする。			
H28年度事業計画 ・社会福祉法人いきいき福祉社会・一般社団法人インク ルージョネットワークが共同事業体に業務委託し、就 労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図 る。				
課題・問題点 ・支援対象者の早期発見をするために事業の周知の方法 を検討する。 ・就労体験受入先の確保・拡充。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 168	事業名 子ども、若者育成支援事業	担当部 子ども青少年部	担当課 青少年課	
事業目的 二一・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若 者とその家族を対象に、若者一人ひとりの自立を支援する。		変更(ある場合)		
事業内容 ①湘南・横浜若者サポートステーションJ及びひきこもり支援センター ユースワークふじさわと連携し、面談(カウンセリング)をはじめ、福 祉や保健・医療など、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実 施する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
支援実施者数 100人	支援実施者数 100人	支援実施者数 100人	支援実施者数 100人	支援実施者数 100人
予算額(千円)	10,917			
決算額(千円)	10,916			
執行率(%)	99.9			
年次ごとの取組計 画(年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果	支援実施者数99人			
評価の理由	・H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・困難を有する若者やその家族に対して、適切な支援を受 けられるよう、福祉や保健等といった機関への引き継ぎを 行うなど、社会的自立に向けた支援としての第一歩につな げることができた。 今後の方向 ・義務教育終了後の進路未決定者等がひきこもり状 態となるケースが多くなる状況から、早期支援を開 始するため、学校教育相談センター等と連携して就 学中からの支援を進めていく。 H28年度事業計画 ・引き継ぎ関係諸機関との連携を図りながら個別の 支援の充実を図っていく。			
課題・問題点 ・自立に向けた体験等の場の確保 ・潜在的な二一・ひきこもりの若者やその家族に対しての 周知 ・外出が困難な人に対する訪問支援等の体制の整備				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 211(232)	事業名 地域子育て支援センター事業	担当課 担当課	子ども青少年部 子育て企画課
<p>安心して子育てできるよう支援体制の充実に努め、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 地域の子育て支援拠点として、南・北保健センターや基幹保育所と相互に連携し、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポート事業を行う「子育て支援センター」を運営する。(H28)</p> <p>事業内容 子育てに関する相談や情報提供、子育てサポート事業を行う「子育て支援センター」を運営する。</p>			
	H27年度 3か所の運営	H28年度 4か所の運営	H29年度 →
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	3か所の運営	4か所の運営	→
予算額(千円)	52,783	66,140	
決算額(千円)	52,365		
執行率(%)	99.2		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センター3か所の運営		
年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センターの3か所の延べ年間利用者数は61,907人、相談件数は9,322件、巡回子育てひろば(6か所)で開催の延べ年間利用者数は3,605人</li> <li>・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図られた。</li> </ul> <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子でほっとできる場があり良かった」「子育てで悩んでいるのは自分だけじゃないのかわかって気持ち軽くなった」「友だちができた」等、利用者の声からも、子育ての悩みや不安等の軽減を図ることができたため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度から辻堂及び六本木子育て支援センターに正副職員を各2名配置し、体制強化を図ったことにより、特に支援が必要な困難ケースに対しては、関係機関等との調整など、さらに迅速かつきめ細かな対応を行うほか、子育て世代包括支援センターとの連携体制で「利用者支援事業」をさらに充実する。</li> </ul> <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を支持保護者を対象とした子育てひろばを充実</li> <li>・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施</li> <li>・保育サービスに関する情報提供</li> <li>・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整</li> <li>・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流</li> <li>・虐待予防講座としてBPP講座、NP講座を実施</li> </ul> <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立感を持つ母親に対する支援策として、期にわたるセンターの機能強化に併せ、妊娠前から子育て開始までの切れ目ない支援を図るため、さらなる周知を行い、南・北保健センターとの連携による子育て支援センターの利用拡大にも努める。</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 212(233)	事業名 つどいの広場事業	担当課 担当課	子ども青少年部 子育て企画課
<p>安心して子育てできるよう支援体制の充実に努め、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、子育て情報の提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域においてつどいの広場に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p> <p>事業内容 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、子育て情報の提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域においてつどいの広場に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p>			
	H27年度 ●つどいの広場の運営	H28年度 →	H29年度 →
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	4か所の運営	→	→
予算額(千円)	17,152	17,580	
決算額(千円)	16,663		
執行率(%)	97.1		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	藤沢・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所に対するH27年度の成果		
年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の延べ年間利用者数は20,932人、相談件数は1,655件</li> <li>・藤沢版つどいの広場の開催は「かたせ」つどいの広場 片瀬 月3回</li> <li>・フリースペース「にこにこ」 明治 月6回</li> <li>・遠藤子育てひろばのひのび 遠藤 月1回</li> <li>・子育てひろばタンホボ 長後 月3回</li> <li>・大庭子育てひろばひよびよ広場 湘南大庭 月1回</li> <li>・子育てプレイルーム 藤沢 月1回</li> <li>・むらつひろば 村岡 月2回</li> </ul> <p>・地域において、主に乳幼児とその家族が交流できる場を提供し、子育てに関する相談・情報提供・講習等を行うことで、子育ての不安等が軽減された。</p> <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとする」「親子で仲つたりした気持ちで過ごせる」等、利用者にとって安心できている場であり、悩みや不安等が軽減されているため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域における子育て支援の場として、それぞれの地域の特色を生かした子育て支援を充実させる。</li> </ul> <p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て親子の交流の場の提供</li> <li>・相談・地域の情報提供等の実施</li> <li>・地域のニーズにあった子育て支援講習等の実施</li> <li>・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換の実施</li> <li>・職員研修の充実</li> </ul> <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターとの連携を図り、養護士・保健師・保育士などによる巡回相談を充実させる。</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度
213	放課後児童健全育成事業	青少年課				
<p>事業目的 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ事業)を実施する。</p> <p>事業内容 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ事業)を実施する。</p>						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)			3,119人	3,352人	3,874人	4,074人
予算額(千円)			600,051	630,891		
決算額(千円)			570,226			
執行率(%)			95.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果			児童クラブ入所希望児童の入所率(100%)			
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			<p>・平成27年3月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、10カ所に放課後児童クラブを整備した。</p> <p>○建設5カ所…ひだまり児童クラブ(鶴沼小学校区)、キラリン児童クラブ(村岡小学校区、村岡子ども家併設)、かわせみ児童クラブ(大道小学校区)、虹の子児童クラブ(善行小学校区)、葉の花児童クラブ(富士見台小学校区)。</p> <p>○定員確保対策5カ所…第21までん児童クラブ(鶴沼小学校区)、第22わかやか児童クラブ(藤沢小学校区)、第23よかけ児童クラブ(天神小学校区)、第24小羊児童クラブ(羽鳥小学校区)、第25竹の子児童クラブ(八松小学校区)。</p> <p>※第26までん児童クラブについては、平成28年4月からひだまり児童クラブに定員吸収</p> <p>・平成28年度の整備に向け、検討・調整を行った。</p>			
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			<p>・入所要件を満たさず入所希望児童の入所率は100%であり、目標を達成しているため。</p> <p>・整備計画に基づき具体的な施設整備を進めている。</p> <p>今後の方向 ・整備計画に基づき具体的な施設整備を進めている。</p>			
H28年度事業計画			<p>・整備計画に基づき、既存施設の拡充及び新設箇所の選定等を行うとともに、既存事業者以外の新たな運営事業者の募集についても、検討を行う。</p> <p>・現在計画的に行っている特別な支援が必要な児童の受け入れについて、施設の状況、介助員の配置、クラブまでの移動等の課題を整理し、受け入れに向けた整理を行う。</p>			
課題・問題点			<p>・放課後児童クラブ整備計画の計画期間5年間にあたって、みらい創造財団と十分協議しながら、待機児童の多い小学校区から優先的に施設整備を行っていく。</p> <p>・待機児童の多い小学校区においては、引き続き借地や借家の活用も検討していく。</p> <p>・肢体不自由等の障がいのある児童に対する放課後支援の課題やあり方について、教育委員会や福祉部等と協議・検証を行う。</p> <p>・児童クラブ運営には2人以上の放課後児童支援員の配置が必要であるため、人員の確保及び資質の向上を図っていく。</p>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度
214	母子保健事業	子ども青少年部 子ども健康課				
<p>事業目的 健全な母性・父性の育成を目指し、思春期保健を推進する。</p> <p>事業内容 思春期における心身の変化や特有な問題について啓蒙を行い、性の不安や悩み等に対処できる力を促す。</p>						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)			年1回	→	→	→
●思春期講演会の開催						
●思春期保健教育の実施			10校	→	→	→
予算額(千円)			64,682	62,571		
決算額(千円)			58,349			
執行率(%)			90.2			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果			<p>●思春期講演会の開催 1回/年 ●思春期保健教育の実施 7校</p>			
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			<p>・思春期の子どもの特徴や課題を理解するため、思春期の子どもも保護者だけでなく、思春期の子どもを支える学校職員、養護教諭、母子保健従事者など思春期の子どもへの関わり方を学ぶことで、よりよい関係を築くことを目的として講演会を開催し、参加者から「講演内容が良かった。」「子どもとの関わり方の参考になった。」など好評を博した。</p> <p>※12月14日 14:00～16:00 藤沢市保健医療センター 3階 研修室</p> <p>・思春期にある子どもたちが、自分自身を大切にし、健全な成長と母性の健康保持増進を図れるよう保健師による思春期保健教育を実施した。</p> <p>・思春期保健教育出張講座 小学校1校・中学校5校・高校1校 計7校</p>			
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			<p>・講演会については、目的に合った講師を選ぶこと、市内南北地域で交互に開催するなど、会場選びの検討もしていく。</p> <p>・思春期保健教育については、子どもや保護者が性について理解できるような啓蒙を広めるために、課内のスキルアップと事業周知を行っていく。</p> <p>今後の方向 ・講演会については、目的に合った講師を選ぶこと、市内南北地域で交互に開催するなど、会場選びの検討もしていく。</p>			
H28年度事業計画			<p>・講演会については、目的に合った講師を選ぶこと、市内南北地域で交互に開催するなど、会場選びの検討もしていく。</p> <p>・思春期保健教育については、子どもや保護者が性について理解できるような啓蒙を広めるために、課内のスキルアップと事業周知を行っていく。</p>			
課題・問題点			<p>・講演会・地域でも思春期保健に関する講演会が実施されている現状があり、母子保健で行う思春期保健教育につづくりの相点で計画できるよう工夫が必要である。</p> <p>・思春期保健教育(学校ごとに学習目標や依頼内容が異なるため、事前打ち合わせを密にする必要がある。</p>			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
Z15(204-724-931)	学校・家庭・地域連携推進事業	教育部	学校教育企画課	●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会、業務委託の実施)					
子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。									
事業目的									
事業内容									
・中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や家庭教育に関わる事業等を実施する。									
・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。									
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	参加者総数	33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人			
実施	実施	→	→	→	→	→			
予算額(千円)	5,574	5,574							
決算額(千円)	5,460								
執行率(%)	98.0								
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人                  PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施</p>								
評価	H27年度の総合評価							次年度	
評価理由	<p>●計画とおりの事業を行うことができた。</p>							継続	
<p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。</li> <li>・「情報交換、他団体との意見交換、実績報告等」</li> <li>・「SNS講習会」や「国際親善いどばた会議」「子どものお金教育」等、家庭教育力の向上につながる講演会を実施した。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会に業務を委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。</li> <li>・広報紙の発行 年3回(7月 11月 3月)</li> <li>・各校PTAの発行情況調査の実施</li> <li>・講演会の実施</li> <li>・「PEP TALK! 子どものやる気を起こす魔法の言葉」子育てや日常の人間関係に活用できる言葉がけについて学ぶことができた。</li> <li>・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回</li> <li>・地域の教育力向上を図る事業を実施</li> <li>・「ふじさわ教育フォーラム」の開催</li> <li>・「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」</li> </ul>									
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3.5 13:30~16:20 通園NDPル</li> </ul>									
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。</li> <li>・藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース)</li> <li>・学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。</li> </ul>									

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
Z21	幼稚園協会等補助金事業	子ども青少年部	保育課	●運営補助					
幼稚園及び幼児教育施設の教職員の資質向上									
事業目的									
事業内容									
藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の研修、研究費及び私立幼稚園協会等の運営活動に補助を行う。									
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→			
予算額(千円)	4,630	4,630							
決算額(千円)	4,630								
執行率(%)	100.0								
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>幼稚園協会に対する補助金 4,030千円                  幼児教育協議会に対する補助金 600千円</p>								
評価	H27年度の総合評価							次年度	
評価理由	<p>●予算の執行率は100%ではあるが、事業内容が補助金交付であり、もともと目標という概念が無いが、</p>							継続	
<p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初(4月1日)に補助金交付決定を行い、6月、10月、2月の年3回に分けて、交付決定額の1/3ずつ補助金を支出した。</li> <li>・年間3回の補助金交付により、幼稚園協会、幼児教育協議会の安定した運営を支援することができた。</li> <li>・今後補助金を継続し、幼児教育の推進を図る。</li> </ul>									
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付を目的とする事業として、基本的には毎年度執行率は100%となることから事業としての評価が困難である。</li> </ul>									
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の研究・研修費、及び運営活動に補助を行う。</li> </ul>									

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	子ども青少年部 保育課		
222	幼稚園等就園奨励補助金事業	担当課	変更(ある場合)		
<p>保護者の経済的負担の軽減を図ること、幼稚園等への就園を奨励する。</p> <p>事業目的 保護者の経済的負担の軽減を図るために、就園している園児の保育料を、園児の世帯の所得状況や兄弟の人数に応じた減免を行った幼稚園等の設置者に対して、減免相当額の補助を行う。</p> <p>事業内容 保護者の所得状況に応じて、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成する。 ・補助金交付対象者: 7,469人 ・補助金交付施設: 108園</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●設置者への補助	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	841,411				
決算額(千円)	805,577				
執行率(%)	95.7				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免することによって幼稚園の設置者に対して、減免額を助成した。</li> <li>【スケジュール】</li> <li>・6月中旬: 補助金交付申請書受理(当初分)</li> <li>・11月中旬: 補助金交付申請書受理(追加分)</li> <li>・12月中旬: 補助金交付(当初分)</li> <li>・2月上旬: 補助金交付(追加分)</li> </ul> <p>【補助内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付対象者: 7,469人</li> <li>・補助金交付対象施設: 108園</li> <li>・補助金交付額: 805,576,745円</li> </ul>				
	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。</li> <li>【補助金額】</li> <li>・私立幼稚園 (33園): 19,057,400円</li> <li>・幼児教育施設(11園): 1,209,400円</li> </ul>				
予算額(千円)	20,813	20,627			
決算額(千円)	20,267				
執行率(%)	97.4				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園(33園)・幼児教育施設(11園)に対する補助金交付</li> </ul>				
	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。</li> </ul>				
	<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経済的負担を軽減することができ、幼児教育の推進が図られた。</li> </ul>				
	<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も補助を継続していく。</li> </ul>				
	<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市在住児童が在籍し、その保護者の所得状況に応じ、保育料を減免する幼稚園・幼児教育施設に対し、減免額を補助金として助成する。</li> </ul>				
	<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庫補助対象事業であり、園が「幼児教育の無償化」に向けた取り組みを段階的に推進する。」としていることから、国の動向に注視する必要がある。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	子ども青少年部 保育課		
223	幼児教育振興助成事業	担当課	変更(ある場合)		
<p>事業目的 市内幼稚園等の教育環境及び衛生管理事業の充実 ・保護者の経済的負担軽減</p> <p>事業内容 市内幼稚園及び幼児教育施設の教員・購入及び衛生管理事業に対して、補助金を交付する。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●市内幼稚園等への補助	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	20,813	20,627			
決算額(千円)	20,267				
執行率(%)	97.4				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園(33園)・幼児教育施設(11園)に対する補助金交付</li> </ul>				
	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。</li> <li>【補助金額】</li> <li>・私立幼稚園 (33園): 19,057,400円</li> <li>・幼児教育施設(11園): 1,209,400円</li> </ul>				
	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。</li> </ul>				
	<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園及び幼児教育施設の購入経費、及び健康管理事業に要する経費等を助成する。</li> </ul>				
	<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も補助を継続していく。</li> </ul>				
	<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園33園と幼児教育施設12園に対し、園員や教材教具等の購入経費、及び健康管理事業に要する経費等を助成する。</li> </ul>				
	<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に無し</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	幼稚園等預かり保育推進事業	担当部	子ども青少年部
224			担当課	保育課
		事業目的		
		幼稚園等預かり保育を推進することにより、保育料の軽減や保護者の就労機会の拡大を図る。		
		事業内容		
		保育を必要とする児童の保護者が、保育所だけでなく幼稚園も選択できるような環境づくりの一として、預かり保育(延長保育)を実施した私立幼稚園の設置者に対して、実施に要する人件費及び保育経費の助成を行う。		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●人件費等の助成				
実施	→	→	→	→
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	23,710			
決算額(千円)	19,792			
執行率(%)	83.5			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私学助成対象幼稚園が実施する預かり保育について、実績に応じて補助金を交付した。また、施設型給付幼稚園が実施する一時預かり保育に対しては業務委託を行った。</li> <li>・藤沢市私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 26園 15,080,000円</li> <li>・幼稚園長時間預かり保育支援事業補助金 1園(市外) 1,368,000円</li> <li>・幼稚園型一時預かり事業 8園 3,343,720円</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度においては、預かり保育の実績が当初予定を下回ってしまっただけ</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育需要の増加に対応するため、保育を必要とする保護者が保育施設だけでなく幼稚園も選択できるよう、また、小規模保育事業所等からの卒園児の受け皿となるよう、幼稚園における預かり保育の長時間化を推進する。</li> </ul>				
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に対する従来の預かり保育の開設時間・開設日数による補助制度を見直し、年間を通して継続的に開園日に預かり保育を実施する場合は人件費に對して助成を行う。また、夏期休業等の長期休業期間における預かり保育を推進し、保護者の多様な保育ニーズに対応していく。</li> </ul>				
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園における預かり保育の長時間化については、施設側の理解と協力不可不可欠であるが、制度内容がまだ十分に浸透しておらず、また年度当初は利用人数を見込みで算出せざるを得ないため、年度末に補助金の要受交付や変更契約が必要となる。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	幼稚園・保育所・小学校 中学校 特別支援学校連携推進事業	担当部	子ども青少年部
225			担当課	教育指導課・保育課
		事業目的		
		園児等が小学校の様子を知ることにより、就学後、児童の学校生活がスムーズに行える。(小1プロブレムの解消)		
		●中1ギャップの解消と、義務教育9年間を見通した教育を推進する。		
		事業内容		
		幼稚園・保育所・小・中・特別支援学校の関係者、学識経験者等からなる「幼・保・小・中連携推進協議会」を設置し、幼児教育と小・特別支援学校や小学校と中・特別支援学校の教育の充実及び連携の推進を図るため、協議・研修・交流を行う。		
		就学前の園児等の小学校訪問及び小学校児童と中学校生徒の交流の推進など、校種間の連携を図る。		
		校種間教職員の見学交換を積極的に行う。		
		小・中一貫教育の実現の可能性等について研究するとともに連携の推進を図る。		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●初保小連携実施校30校、小中連携実施校55校との連携の推進				
実施	→	→	→	→
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	30			
決算額(千円)	0			
執行率(%)	0.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所、小学校、中学校、特別支援学校連携推進担当者会議を開催した。小中学校担当者53名と白根養護学校担当者1名、幼稚園・保育所の担当者28名が出席し、連携にかかわる実践の紹介や情報交換を行った。</li> <li>・幼・保、小、中、特別支援学校の職員を対象に合同研修会を行い、連携の必要性や課題、具体的な実践等についての講演を聞き理解を深めた。また、地域協力者会議の代表の方々を招き、地域・家庭・学校の連携活動を紹介した。</li> <li>・中学校学区を中心とした近隣の学校や園の間で、年間計画を基に交流、学校見学などについて調整し、交流を実施した。地域の学校や園の教員が協力し合う素地ができた。また、各小学校間の情報交換により、支援を必要とする児童生徒に、きめ細かい支援が継続できるようになった。</li> <li>・各校からの異校種間交流の実践報告を受け、それらをまとめた冊子「平成27年度幼保小中特連携実践事例集」を作成した。今まで見られなかった新しい試みや、交流の深まりや広がり報告された。</li> </ul>				
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立保育所や私立幼稚園へ担当若卒の関連連携をする際の参加が少ないこと。</li> <li>・幼稚園にも実践事例集の原稿執筆を依頼しているが、回収方法に一考を要する。</li> <li>・行事の交流や教職員の情報交換などが中心であるため、継続的な学びという視点で教育活動や指導に生かすことまでには至っていない。</li> </ul>				
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中特特別支援学校間の連携を推進し、校種間の円滑な接続及び幼児期の教育を基礎として、義務教育9年間を見通した教育の推進を図る。</li> <li>・活動の実践事例集の活用を図り、教育連携の実践に役立てる。</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中特連携についての必要性や効果について、いただいた理解が深まり、幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携については全校で実施されている。実施内容は職員間の情報交換や幼児と児童生徒の交流が行われた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中特の教員が「義務教育を終える段階で身に付けておくべきこととは何か」という観点を共有しながら、幼児教育、小学校教育、中学校教育をそれぞれ必要である。幼児教育を基礎として、小学校9年間を見通して、どのように子どもたちの資質や能力を伸ばしていくのかを考えることと、子どもひとりひとりの個々の発達段階や教育的ニーズを踏まえた実践を推進していく。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	子育てふれあいコーナー事業	担当課	子ども青少年部 子育て企画課
231	子育てふれあいコーナー事業	地域において、子育て中の親子の交流や相談の場を提供し、子育てに対する不安や悩みの軽減を図る。 事業目的 地域子供の家や児童館等において、保育士や子育てボランティアなどによる子育て中の親子の交流、情報提供、育児相談を実施する。	子育てふれあいコーナー事業	子ども青少年部 子育て企画課
				変更(ある場合)
				H28年4月より、六会子育て支援センターが開設されるため、中部地区で未実施だった石川児童館においても実施する。(H28)
				事業内容
				地域子供の家や児童館等において、保育士や子育てボランティアなどによる子育て中の親子の交流、情報提供、育児相談を実施する。
				H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度
				●交流・情報提供・育児相談の実施
				21か所で実施 22か所で実施 → → →
				年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)
				予算額(千円) 486 460
				決算額(千円) 342
				執行率(%) 70.4
				年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 地域子供の家及び児童館の21か所で実施
				H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
				・あいあい 地域子供の家17か所、児童館4か所、計21か所で月1回(3・4・8月は休み)実施 ・きらさらぼ 年間187日実施、延べ年間利用者数2,971人 ・藤沢・八景・湘南台子どもの家にて、週1回(8月は休み)実施 ・年間99日実施、延べ年間利用者数は1,424人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力、18人新規登録 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施
				評価の理由 ・H26年度より利用者数が増加しており、利用者がリピーターとなっており、親子で安心して過ごせる場、相談できる場として、子育ての不安等の軽減がされているため。
				今後の方向 ・親子同士のふれあいや交流の輪を広げる。
				H28年度事業計画 ・あいあいは石川児童館でも開催となり、きらさらぼと合わせて22か所で実施。 ・子育てボランティア数は60人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修 3回実施予定
				課題・問題点 ・子育てボランティア数は増加しているが、実際に活動開始となると、体調関係で欠席等もあり、シフト調整が困難となり活動可能なボランティアが限定される地域もある。1回500円で上限5,000円の負担も検討するとともに、ボランティアが少ない地域の募集の周知に努める。

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	地域子育て支援センター事業	担当課	子ども青少年部 子育て企画課
232(211)	地域子育て支援センター事業	安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。 事業目的 地域の子育て支援拠点として、南・北保健センターや基幹保育所と相互に連携し、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポートの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う(子育て支援センター)を運営する。(H28)	地域子育て支援センター事業	子ども青少年部 子育て企画課
				変更(ある場合)
				事業内容
				地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサポートの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う(子育て支援センター)を運営する。
				H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度
				●子育て支援センターの運営
				3か所の運営 4か所の運営 → → →
				年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)
				予算額(千円) 52,783 66,140
				決算額(千円) 52,365
				執行率(%) 99.2
				年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センター3か所の運営
				H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
				・藤沢・湘南台・辻堂子育て支援センターの3か所の延べ年間利用者数は61,907人、相談件数は9,322件、巡回子育てひろば(6か所で開催)の延べ年間利用者数は3,605人 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。
				評価の理由 ・親子でほっとできる場があり良かった(子育てで悩んでいるのは自分だけじゃない)がわかって気持ち軽くなった(友達らができた)等、利用者の声からも、子育ての悩みや不安等の軽減を図ることができたため。
				今後の方向 ・H28年度から辻堂及び六会子育て支援センターに正帰職員の保育士を各2名配置し、体制強化を図ることにより、特に支援が必要な困難ケースに対しては、関係機関等との調整など、さらに迅速かつきめ細かな対応を行うほか、子育て世代包括支援センターとの連携体制で「利用者支援事業」をさらに充実する。
				H28年度事業計画 子育て支援の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を持つ保護者を対象とした子育てひろばを充実 ・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業の実施 ・保育サービスに関する情報提供 ・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整 ・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流 ・虐待予防講座としてBSP講座、NP講座を実施
				課題・問題点 ・孤立感を持つ母親に対する支援策として、子育て支援センターの機能強化に伴い、妊娠前から子育て支援センターまでの切れ目ない支援を図るため、さらなる周知を行い、南・北保健センターとの連携による子育て支援センターの利用拡大にも努める。

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
233(212)	子どもの健やかな育ちを支援する。	子ども青少年部	子育て企画課					
	安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。							
	事業目的 子育て中の親子の交流やつづの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つづの広場」を運営する。また、地域において「つづの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。							
	事業内容 ・親子の交流やつづの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つづの広場」を運営する。また、地域において「つづの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)			4か所の運営	→	→	→	→
	予算額(千円)	17,152	17,580					
	決算額(千円)	16,663						
	執行率(%)	97.1						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果			鶴沼・善行・藤が岡・中里つづの広場の4か所の運営				
	H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			・鶴沼・善行・藤が岡・中里つづの広場の4か所の延べ年間利用者数は20,992人、相談件数は1,655件 ・藤沢つづの広場の開催は「たせ・にこにこ広場」片瀬 月3回、月6回、フリースペース「にこにこ」明治 月1回、遠藤 月1回 ・子育てひろばタンホボ 長後 月3回、湘南大庭 月1回 ・大庭子育てひろばひよよ広場 月1回 ・子育てプレイルーム 藤沢 月1回 ・むらつひろば 村岡 月2回 ・地域において、主に乳幼児とその家族が交流できる場所を提供し、子育てに関する相談・情報提供・講習等を行うことで、子育ての不安等が軽減された。				
	評価の理由			・「日頃の悩みや後ろ向きな感情も受け止めてもらえて、ほっとする」親子でゆったりとした気持ちで過ごせる」等、利用者にとって安心できる場であり、悩みや不安等が軽減されているため。				
	今後の方向			・身近な地域における子育て支援の場として、それぞれ地域の特徴を生かした子育て支援を充実させる。				
	H28年度事業計画			・子育て親子の交流の場の提供 ・相談・地域の情報提供等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会の実施 ・職員の研修の実施				
	課題・問題点			・子育て支援センターとの連携を図り、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談を充実させる。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
234(216-724-031)	子どもの健やかな育ちを支援する。	子ども青少年部	子育て企画課					
	安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。							
	事業目的 子育て中の親子の交流やつづの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つづの広場」を運営する。また、地域において「つづの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。							
	事業内容 ・親子の交流やつづの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つづの広場」を運営する。また、地域において「つづの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)			33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人
	予算額(千円)	5,574	5,574					
	決算額(千円)	5,460						
	執行率(%)	98.0						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果			「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人				
	H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)			・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 *「会長会」の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) *各地域事業総数 119事業 *各地域事業参加者数 33,390人 *地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合 い、実施事業に活かした。 *「家庭科ミシン補助」「知作り支援」「学校別ふれあい事業」「アジサイまつり」「郷土の散策」等、学校支援や、地域住民と子どもたちが世代を超えてふれあう事業を実施した。				
	評価の理由			・計画どおりの事業を行うことができた。				
	今後の方向			・学校・家庭・地域で連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。				
	H28年度事業計画			・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。				
	課題・問題点			・より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。				



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	福祉部		
243(165)	自立支援推進事業	担当課	生活支援課		
<p>事業目的 生活保護受給世帯の子ども、若者の健全育成と将来に向けた自立支援の推進</p> <p>事業内容 0歳から概ね20歳の子ども、若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●支援を要する受給世帯への個別支援				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	4,654	5,030			
決算額(千円)	4,654				
執行率(%)	100.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	支援件数 65世帯77人				
度末の成果					
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援件数 生活保護受給世帯 49世帯 (再掲)</li> <li>生活困窮世帯 3世帯</li> <li>・教育支援(子どもの学校生活・進路等)に関する支援 62人</li> <li>※1人に対し、事業コード165の他の支援との重複もあり。</li> </ul> <p>家庭訪問 51回                  家庭外訪問 6回                  電話相談 129回                  来所面談 38回                  同行支援 28回                  カンファレンス 23回                  関係者調整 25回                  研修 2回</p> <p>学校・学校教育相談センター・SSW・SC・学習支援事業所等との連携による不登校児童生徒の縮減。また、学習支援事業所通所支援した生徒については昨年度に引き続き高校進学率100%を達成。継続支援中の高校生に対し、高校と連携し中途退学防止を図っている。</p> <p>課題・問題点                  ・事業の周知徹底。(特に県域 県立高校等)                  ・支援件数増加に伴う、支援員の勤務時間増。</p>					
<p>評価の理由                  ・アウトリーチ型支援の実施により不登校・ひきこもり児童生徒を学校や学習支援事業所への定期通所に合わせた。                  ・引き継ぎ、関係機関と連携し、切れ目のない寄り添い型の支援を実施していく。</p> <p>今後の方向                  ・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。                  ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)</p>					
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。</li> <li>・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)</li> </ul>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部		
311	特別支援教育整備事業	担当課	教育指導課		
<p>事業目的 特別支援学級や通級指導教室など、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた教育の場の整備</p> <p>事業内容 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●通級指導教室				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	中里小 中里小 ●特別支援学級 大庭中に増設準備 大庭中に増設準備	中里小 中里小 ●特別支援学級 大庭中に増設 大庭中に増設準備	中里小 中里小 ●特別支援学級 大庭中に増設準備 大庭中に増設準備	中里小 中里小 ●特別支援学級 大庭中に増設準備 大庭中に増設準備	中里小 中里小 ●特別支援学級 大庭中に増設準備 大庭中に増設準備
予算額(千円)	17,825	0			
決算額(千円)	15,946				
執行率(%)	89.5				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の増設を行う。	中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の増設を行う。	中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の増設を行う。	中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の増設を行う。	中里小学校に通級指導教室「すまいる」の開設や大庭中学校の特別支援学級の増設及び、保野小学校の通級指導教室(こよびの教室)1クラス増加分の増設を行う。
度末の成果					
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中里小学校に通級指導教室「すまいる」を開設する「ため」に教室等の工事や準備を行った。</li> <li>・大庭中学校の特別支援学級の増設工事を行った。</li> </ul> <p>評価の理由                  ・中里小学校に通級指導教室「すまいる」を開設するための工事や準備、大庭中学校の特別支援学級の増設工事を行うことができた。</p> <p>今後の方向                  ・特別支援学級については、早期の全校設置を目指して、特別支援学級仕様スタンダードを見直し、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。                  ・通級指導教室については、ニーズやその形態等も含めて、開設を検討していく。</p> <p>H28年度事業計画                  ・特別支援学級の開設を検討する。                  ・通級指導教室の児童数の推移を見ながら、開設について検討する。</p>					
<p>課題・問題点                  ・特別支援学級については、早期の全校設置を目指して特別支援学級仕様スタンダードを見直し、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。                  ・通級指導教室については、ニーズやその形態等も含めて、開設を検討していく。</p>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
312	新入生サポート事業	教育部	学務保健課			
<p>事業目的                      ・児童生徒の定着及び学習意欲の向上並びに集団生活への適応を促進し、安定した学校生活を身につけさせ、教育効果の向上を図る。</p> <p>事業内容                      ・市立小学校1年生を対象にして市費講師を配置する。                      ・新任講師対象の研修会1回、全講師対象の研修会1回を実施する。                      ・校内研修を各講師に対して年間21時間実施する。</p>						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●市費講師の配置 ●研修の実施	→	→	→	→
	予算額(千円)	25,535	25,786			
	決算額(千円)	25,369				
	執行率(%)	99.3				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置				
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・計画どおり小学校1年生に市費講師を適性に配置したことにより、基本教科を中心に生活習慣を含めティームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。 ・研修を実施したことにより、担任とサポート講師の連携が深まるなど事業が円滑に行われた。				
	評価の理由	・計画どおりの事業を行うことができた。				
	今後の方向	・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置の継続。 ・事故防止研修の実施。				
	H28年度事業計画	・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級以上)となる学校へは2人)配置。 ・校内研修各講師21時間。 ・新任講師対象の研修会1回実施。 ・全講師対象の研修会1回実施。				
	課題・問題点	・事故防止研修の時間の確保が課題となっている。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
313	学校図書館管理運営事業	教育部	教育指導課			
<p>事業目的                      ・児童生徒の読書活動の充進と学校図書館の活性化を図る。                      ・地域公立図書館との連携を図ることにより、児童生徒がより多くの本と出会う機会を増やす。</p> <p>事業内容                      ・学校図書館運営指針に基づき、学校図書館機能の充実を図る。                      ・市立小中学校の学校図書館に、「学校図書館専門員」を置き、学校図書館業務の円滑な運営を支援する。</p>						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●学校図書館専門員の配置 ●学校図書館専門員連絡会 ●学校図書館ガイドブック策定	→	→	→	→
	予算額(千円)	38,964	38,964			
	決算額(千円)	38,712				
	執行率(%)	99.4				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	学校図書館専門員を市立小・中・全54校に配置し、学校図書館を運営した。				
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・平成27年、28年の2年計画で、学校図書館ガイドブックを作成している。司書教諭を中心とした学校の図書部と学校図書館専門員と図書ボランティアの役割分担や、学校図書館運営に関する活動内容や業務について、ガイドブック作成部会を中心に検討した。 ・学校図書館専門員連絡会を年5回開催し、公立図書館との連携による情報の提供や研修や、ガイドブックの内容検討を実施した。 ・小中合同の連絡会では、学校図書館の見学や各校の情報交換を行い、SLA担当者や共催で研修会を実施した。 ・年度末に活動報告書をまとめてカラーの冊子を作り、学校に配布し、情報や実践例の共有化を図った。 ・本の整理整頓や冊作り、季節ごとの飾り付け、特集コーナーの設置などにより、学校図書館の整備が進められた。また、学校図書館専門員がオリエンテーションやブックトークを行うことで、学校図書館の活性化を図ることができた。				
	評価の理由	・学校図書館専門員の配置により、学校図書館業務が円滑に行われ、環境整備や読書活動の推進が図られた。				
	今後の方向	・藤沢市学校図書館運営指針に基づいたガイドブックを作成させ、学校図書館運営の活動や業務分担について明確にする。 ・司書教諭を中心に、学校図書館がより機能するよう発信し、学校図書館専門員との連携を図る。				
	H28年度事業計画	・連絡会を年4回開催し、図書館専門員の技術の向上を図るとともに、市民図書館と連携し、学校に対して情報提供を行う。 ・藤沢市学校図書館運営指針に基づいた学校図書館運営ガイドブックを作成させ、司書教諭や図書館専門員等の活動や業務分担について明確にする。 ・司書教諭連絡会を開催し、学校図書館運営ガイドブックの内容と、司書教諭の役割について共通理解を図る。 ・年度末に活動報告書をまとめて冊子にし、学校に配付し、実践例の共有化を図る。				
	課題・問題点	・学校図書館専門員と司書教諭を中心とする学校の図書部との連携が、まだ十分に図れていない学校がある。 ・学校図書館専門員と司書教諭との役割分担が、明確にされていない。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部			
314(113)	学校ICT機器整備事業 (教育用・校務用PC)	担当課	学校教育企画課			
<p>事業目的                      ・教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン)の習得の促進                      ・効果的校務処理とその結果生み出される教育活動の質の改善</p> <p>事業内容                      ・教育用情報機器の整備                      ・学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていることに伴い、藤沢市教育情報推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図り、児童生徒の学習の多くの場面に教育情報機器を活用した学習の充実を図る。                      ・校務支援システムの構築・整備                      藤沢市教育情報推進計画に基づき、校務支援システムを整備することによって効果的かつセキュリテイの高い校務処理を行うことが可能にする。</p>						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●小学校校務用LANの整備	H28年度 ●小学校校務用LANの整備	H29年度	H30年度	H31年度
		●小学校校務支援システムの整備 先行設置	●小学校校務支援システムの整備 先行設置	●小学校校務支援システムの整備 先行設置	●小学校校務支援システムの整備 先行設置	●小学校校務支援システムの整備 先行設置
	予算額(千円)	105台追加 (累計210台)	143台追加 (累計353台)	302台追加105台更新 (累計655台)	407台追加 (累計1062台)	1人1台体制で 運用
	決算額(千円)	500,949	541,962			
	執行率(%)	492.191				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	小学校校務用LANの整備率5.2% (県平均88.9%) 小学校校務用パソコンの整備率20.0% (県平均116.4%)		H27年度の 総合評価 B		次年度 継続
	H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・校務用LANを整備した小学校2校のハイロケットにおいて、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。 ・導入2年目に入る中で、活用法の研修を進めると同時に、機器の調整以降、学習での活用がよりスムーズに行えるようになった。 ・無線LANを活用した小学校における校内LAN設置の技術的ノウハウを蓄積することができた。 ・小学校校務用サーバーセンターを設置するとともに、各校3台計105台の校務用タブレットPCを追加した。 (10人1台→5人に1台)				
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・小学校校務用LANの整備率は極めて低い状況だが、設定した目標に対しては、概ね達成したとする。 ・台数不足・整備不足の是正を計画的に進めるとともに、ICTを活かした教育の質の向上に資する取組の研究を進め、ICTが実現する新たな学びを本市でも展開できるように、様々な工夫・改善に努める。				
	今後の方向	・小学校校務用LANの整備率の向上に努めることとし、H29年度以降の目標を達成できるように、整備機器・整備方法等の検討を行う。				
	評価の理由	H28年度事業計画 ・小学校校務用LANの整備率の向上に努めることとし、H29年度以降の目標を達成できるように、整備機器・整備方法等の検討を行う。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部			
321(337)	学校施設維持保全事業	担当課	教育施設課			
<p>事業目的                      ・老朽化した校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。</p> <p>事業内容                      ・校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施                      ・機械設備の改修、更新工事の実施                      (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)</p>						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	H28年度 ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	H29年度	H30年度	H31年度
		●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新	●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新
	予算額(千円)	170,387	67,228			
	決算額(千円)	135,698				
	執行率(%)	79.6				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	・小学校1校の外壁等改修及び小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借の取組計画に対し、計画とおりの事業を実施した。		H27年度の 総合評価 B		次年度 継続
	H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・小学校1校の外壁改修、屋上防水工事を実施 ・小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借				
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・小学校3校、中学校3校の放送設備の賃借				
	今後の方向	・本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。				
	評価の理由	H28年度事業計画 ・中学校1校の外壁等改修工事 ・小学校2校、中学校1校の放送設備の賃借				



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	学校安全対策事業	担当部	教育指導課
331	事業名	学校安全対策事業	担当部	教育指導課
	事業目的	児童生徒の安全確保及び学校の安全管理を図る。 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。	担当課	変更(ある場合)
	事業内容	学校非常通報システムの整備・運用 スクールガード・リーダーの配置		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 実施 ●スクールガード・リーダーの配置	H28年度 → ●スクールガード・リーダーの配置	H29年度 →
	予算額(千円)	20校 11,855	27校 12,609	31校 12,609
	決算額(千円)	11,732		
	執行率(%)	98.9		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	学校非常通報システムは全55校で運用でき、市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えた。		
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えた。</li> <li>市内6地域20小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。</li> </ul>		
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者侵入による非常通報はなく、児童生徒は守られていた。</li> <li>不審者出没時のスクールガード・リーダーの緊急対応や、日々の見守り活動は、犯罪の未然防止に大きく役立っている。</li> </ul>		
	今後の方向	引き続き、2つの事業を継続し、児童生徒の安全安心の確保に努めていく。		
	H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校非常通報システムの整備・運用</li> <li>スクールガード・リーダーの配置(7地域23小学校区に7名)</li> </ul>		
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>通報端末の誤操作が年に数回あった。</li> <li>スクールガード・リーダーの人材確保。</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	学校施設環境整備事業	担当部	教育指導課
332	事業名	学校施設環境整備事業	担当部	教育指導課
	事業目的	環境整備事業を計画的に進め、児童・生徒の学習環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。	担当課	変更(ある場合)
	事業内容	真い、暗い、汚いのトイレの3Kの問題や家庭トイレとの環境格差を解消するため、大便器の洋式化、床改修等を実施するとともに、便器を節水型に交換するなどのトイレ改修を実施する。		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ●小学校トイレ改修整備 7校	H28年度 ●中学校トイレ改修整備 3校	H29年度 4校
	予算額(千円)	499,572	91,465	
	決算額(千円)	441,440		
	執行率(%)	88.4		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	小学校7校の改修工事を完了		
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校7校の改修工事を完了</li> <li>小糸小学校、駒寄小学校、湘南台小学校、秋葉台小学校</li> <li>大鰐小学校、滝の沢小学校、俣野小学校、小糸小学校、秋葉台小学校</li> </ul>		
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通り実施した。</li> <li>改修工事実施対象校・小学校28校改修完了</li> </ul>		
	今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修工事実施対象校：中学校12校のうち、残り10校について、特定財源の確保に努めながら、継続して年次計画に基づき実施していく。</li> </ul>		
	H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校1校のトイレ改修工事を実施</li> <li>* 大庭中学校</li> </ul>		
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業期間の短縮を求める声もあるが、財源の平準化の観点から非常に困難な状況である。</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
333	学校施設環境整備事業 (空調設備整備)	教育部 学校施設課					
<p>事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。</p> <p>事業内容 学校生活、学習環境の向上を図るため、小学校普通教室の空調設備設置及び小・中学校管理講室、特別教室の空調設備更新を実施する。</p>							
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●小学校空調設備設置・更新 普通教室3校	H28年度 普通教室6校	H29年度 普通教室8校	H30年度 普通教室6校	H31年度 管理講室4校		
予算額(千円)	368,190	216,260					
決算額(千円)	261,091						
執行率(%)	70.9						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・ 小学校3校の空調設備設置工事を実施 * 中里小学校、八松小学校、羽鳥小学校</p>						
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>評価の理由 ・ 計画通り実施した。</p>						
今後の方向	<p>・ 設置、更新実施対象校・小学校25校、中学校8校について、特定財源の確保に努めながら継続して年次計画に基づき実施していく。</p>						
H28年度事業計画	<p>・ 小学校2校の空調設備設置工事を実施 * 小学校2校 新林小学校(給食調理室含む) 大神小学校(給食調理室含む)</p>						
課題・問題点	<p>・ 事業期間の短縮を求める声もあるが、財源の平準化の観点から非常に困難な状況である。</p>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
334	学校施設環境整備事業 (グラウンド等整備)	教育部 学校施設課					
<p>事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。</p> <p>事業内容 教育環境の向上を図るため、一部芝生化を含めたグラウンド等整備工事を実施する。</p>							
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●小学校グラウンド等整備 1校	H28年度 → 1校	H29年度 → ●中学校グラウンド等整備	H30年度 →	H31年度 →		
予算額(千円)	146,156						
決算額(千円)	127,164						
執行率(%)	87.0						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・ 小学校1校、中学校1校のサブグラウンド整備工事を実施 * 湘南台小学校 * 滝の沢中学校</p>						
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>評価の理由 ・ 計画どおり小学校1校のグラウンド整備及び中学校1校でサブグラウンドの整備を図った。</p>						
今後の方向	<p>・ 本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を進めていく。</p>						
H28年度事業計画	<p>・ 実施予定なし</p>						
課題・問題点	<p>・ 特定財源の確保</p>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部																				
335	学校施設緑化推進事業 (芝生化・壁面緑化)	学校施設課	教育部																				
<p>校庭等の一部芝生化及び校舎壁面緑化を推進することで、緑に囲まれた教育環境を確保するとともに、自然環境に対する意識向上を促す。また緑化活動を通じて地域交流を促進する取組を支援する。</p> <p>事業目的 ・芝生化、「壁面緑化」にも計画を上回って実施した。 ・壁面緑化については、全校で実施済みであるが今後も継続して取り組む。(H28)</p> <p>事業内容 校庭等の一部を芝生として整備するとともに、校舎の壁面に緑のカーテンを設置する。またその継続的な取組を支援するため、資材の提供や啓発活動を実施する。</p>																							
<p>年度別進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●校庭の芝生化</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>●壁面緑化</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●校庭の芝生化	→	→	→	→	●壁面緑化	→	→	→	→					
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																			
●校庭の芝生化	→	→	→	→																			
●壁面緑化	→	→	→	→																			
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額(千円)</th> <th>決算額(千円)</th> <th>執行率(%)</th> <th>評価</th> <th>次年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>148,910</td> <td>2,754</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>128,727</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>86.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校、中学校各1校の芝生化を実施(実施)</li> <li>●小学校、中学校各1校の壁面緑化(H27年度は5校実施)</li> </ul>				予算額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)	評価	次年度	148,910	2,754	→	→	→	128,727					86.4				
予算額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)	評価	次年度																			
148,910	2,754	→	→	→																			
128,727																							
86.4																							
<p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校、中学校各1校の芝生化を実施</li> <li>●湘南台小学校、一ツ木中学校、大田小学校、小糸小学校、小糸中学校</li> </ul> <p>→グラウンド改修工事に合わせて芝生化。(2,400㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●滝の沢中学校</li> <li>→サブグラウンド改修工事に合わせて芝生化。(315㎡)</li> <li>●小学校4校、中学校1校の壁面緑化を実施</li> <li>●小学校4校、本町小学校、大田小学校、小糸小学校、明治中学校</li> </ul>																							
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生化について、計画を上回って実施したため。</li> <li>・壁面緑化についても、計画を上回って実施し、全校で完了したため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設校の維持補修(管理)についても実施する。</li> <li>・壁面緑化については、苗、肥料、プランター等の配布の継続。</li> </ul>																							
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校、中学校各1校の芝生化を予定</li> <li>●対象校未定</li> <li>●壁面緑化は、苗、肥料、プランター等の配布。</li> </ul>																							
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭の芝生化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝刈り、水まき、草取り等の維持管理</li> <li>・養生期間使用できない</li> <li>・地域との協力関係</li> </ul> </li> <li>○壁面緑化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> </li> </ul>																							

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部												
336	学校給食食器改善事業	学校給食課	教育部												
<p>学校給食用の食器を改善することで、児童に正しい食習慣を身につけさせ、学校における食育の推進を図る。</p> <p>事業目的 * 事業終了年度を平成29年度に変更 * 食器の名称を「磁器代替食器」から「樹脂食器」に変更</p> <p>事業内容 施設の構造上給食用フワンの使用ができない学校に対し、アルミ食器に代わる軽量の樹脂食器への変更をする。</p>															
<p>年度別進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●樹脂食器への変更</td> <td>片瀬小学校 鶴洋小学校</td> <td>片瀬小学校 明治小学校 辻堂小学校</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●樹脂食器への変更	片瀬小学校 鶴洋小学校	片瀬小学校 明治小学校 辻堂小学校				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度											
●樹脂食器への変更	片瀬小学校 鶴洋小学校	片瀬小学校 明治小学校 辻堂小学校													
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額(千円)</th> <th>決算額(千円)</th> <th>執行率(%)</th> <th>H27年度の総合評価</th> <th>H28年度の総合評価</th> <th>次年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,076</td> <td>19,444</td> <td>96.9</td> <td></td> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鶴洋小学校においてアルミ食器をPEN樹脂食器に改善した。</li> <li>●片瀬小学校においてアルミ食器をPEN樹脂食器に改善した。</li> </ul>				予算額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)	H27年度の総合評価	H28年度の総合評価	次年度	20,076	19,444	96.9		B	継続
予算額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)	H27年度の総合評価	H28年度の総合評価	次年度										
20,076	19,444	96.9		B	継続										
<p>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●片瀬小学校においてアルミ食器をPEN樹脂食器に改善した。</li> <li>●鶴洋小学校においてアルミ食器をPEN樹脂食器に改善した。</li> </ul> <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり事業を実施した。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ食器を使用している残り3校の早期改善を目指す。</li> </ul>															
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●片瀬小学校においてアルミ食器をPEN樹脂食器に改善する。</li> </ul>															
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>															

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
337(321)	学校施設維持保全事業	教育部	学校施設課					
	老朽化した校舎外壁等の改修や構構設備の更新工事を計画的に実施すること、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。		変更(ある場合)					
	事業目的 ・校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ・機械設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)							
	事業内容 ●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新							
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)			→	→	→	→	→
	予算額(千円)	170,387	67,228					
	決算額(千円)	135,698						
	執行率(%)	79.6						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果							
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)							
	・ 小学校3校、中学校3校の放送設備の質借 * 小学校3校 * 大庭小学校 * 新林小学校 * 滝の沢小学校 * 中学校3校 * 鶴沼中学校 * 善行中学校 * 湘南台中学校							
	・ 小学校2校、中学校3校の放送設備の質借 * 小学校2校 * 高谷小学校 * 亀井野小学校 * 中学校1校 * 藤ヶ岡中学校							
	・ 中学校2校のプール給水ポンプ改修工事 * 善行中学校、鶴沼中学校							
	評価の理由 ・ 取組計画の目標値を達成したため。							
	今後の方向 ・ 本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。							
	H28年度事業計画 ・ 中学校1校の外壁等改修工事 * 村岡中学校							
	課題・問題点 ・ 学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置事業やその他の改修工事をバランスよく実施していくことが必要な状況であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。							

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
338(822)	防災対策事業(津波対策)	教育部	学校施設課					
	津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。		変更(ある場合)					
	事業目的 ・湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を増築する。							
	事業内容 ●校舎棟(津波避難施設)建設							
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)							
	予算額(千円)	595,445						
	決算額(千円)	38,965						
	執行率(%)	100.0						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果							
	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)							
	・ 設計委託 H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。							
	・ 増築工事 H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。							
	評価の理由 ・ H27年度については、計画通り実施した。							
	今後の方向 ・ 定期的に工事の進捗管理を行い、工期内に竣工する。 竣工期限:2017年(H29年)2月28日							
	H28年度事業計画 ・ 2ヶ年継続事業の最終年度として、工事を実施する。							
	課題・問題点 ・ 特になし							



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 412	事業名 地球温暖化対策普及啓発事業	担当部 環境部	担当課 環境総務課	
事業目的 市民、事業者、行政等が一体となってすべての主体が省エネ行動に取り組むことにより、温室効果ガスの削減を図る。 (温室効果ガスを2022年度までに40%削減する)		変更(ある場合) 「年次ごとの取組計画」を「ふじさわ環境フェア」の開催に変更し、入場者数と出展団体を目標値として設定した。(H28)		
事業内容 地球温暖化防止のため、ふじさわ環境フェアの開催、環境ポータルサイトの運営、エコライフハンドブック概要版の配布など啓発施策を実施する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●ふじさわ環境フェアの開催				
入場者数 4,000人 出展団体 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体
予算額(千円) 8,335	280			
決算額(千円) 6,746				
執行率(%) 80.9				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) ●ふじさわ環境フェア 入場者数 3,888人 出展団体 46団体				
度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由		
【ふじさわ環境フェアの開催】 市民、環境団体、NPO法人、環境関連企業が一堂に会し、環境イベントを実施。 ・開催日:2015年11月21日(土) ・場所:藤沢市民会館 ・入場者数:3,888人 ・出展団体:46団体		・計画どおりの事業を行うことができた。 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH26年度以上である。		
【環境ポータルサイトの運営】 環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページアクセス数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月		・地域団体、近隣自治体の協力を得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。 ・図書館協議会を年4回(6月・10月・1月・3月)開催した。 ・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。		
【エコライフハンドブック概要版の配布】 家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広くふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部		・「利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めているが、施設老朽化に伴い故障や破壊、不具合が発生しており、計画的に対応していく必要がある。」		
課題・問題点 ・啓発事業は、環境意識を高めることができるものの、温室効果ガス削減量などの程度貢献しているのか数値化することが難しい。 ・環境ポータルサイトについて、定期的にコンテンツの更新を行っているが、さらなるアクセス数の増に向けて、これまで以上にコンテンツの充実を図っていくことが求められている。		課題・問題点 ・利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めているが、施設老朽化に伴い故障や破壊、不具合が発生しており、計画的に対応していく必要がある。		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 421	事業名 総合市民図書館運営管理事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館	
事業目的 市民が「学ぶ楽しさ」や「知る喜び」を立つ情報「深い思考」や「やさしさ」を「ふれあひ」を得られるよう、資料・情報・施設の提供を行う。		変更(ある場合) 変更(ある場合)		
事業内容 市民の多様な学びを支援するために、4館・11市民図書館で資料・情報・施設を提供する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 貸出件数 390万件/年	391万件/年	392万件/年	393万件/年	394万件/年
予算額(千円) 308,928	310,412			
決算額(千円) 305,364				
執行率(%) 98.8				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) ●貸出件数 397万件/年				
度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由		
・4市民図書館・11市民図書館を開設し、資料の閲覧、貸出、レファレンス等のサービス事業を実施した。 ・定期的に、おはなし会、映画会等を開催した。 ・視聴覚機材の貸出を実施するとともに、16ミリ映画機操作講習会を実施した。 ・講座等を実施し、読書活動の推進、啓発に努めた。 ・展示コーナーを設置し、読書活動の推進、啓発に努めた。		・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供できた。		
【環境ポータルサイトの運営】 環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トップページアクセス数:19,4347件 ・環境カレッジ募金カレッジ数:286,448円/月		・市民や時代のニーズに対応しながら、引き続き4市民図書館・11市民図書館において資料・情報・施設を提供していく。 ・総合市民図書館の運営を行うため、清掃、警備等の施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を維持する。		
【エコライフハンドブック概要版の配布】 家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広くふじさわと併せて配布した。 ・配布日:2015年7月25日 ・配布先:156,000部		・資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業の実施 ・おはなし会、映画会等の開催 ・視聴覚機材の貸出及び16ミリ映画機操作講習会の実施 ・読書週間等における講座等の実施 ・展示コーナーの設置 ・会議室、ホール等の貸出 ・図書館まつりの開催 ・図書館協議会の開催 ・総合市民図書館開館30周年記念事業の実施 ・施設の維持管理		
課題・問題点 ・啓発事業は、環境意識を高めることができるものの、温室効果ガス削減量などの程度貢献しているのか数値化することが難しい。 ・環境ポータルサイトについて、定期的にコンテンツの更新を行っているが、さらなるアクセス数の増に向けて、これまで以上にコンテンツの充実を図っていくことが求められている。		課題・問題点 ・利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めているが、施設老朽化に伴い故障や破壊、不具合が発生しており、計画的に対応していく必要がある。		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 422	事業名 総合市民図書館市民運営事業	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合)		
<p>事業目的 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に図書館運営を業務委託することにより、効率的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。</p> <p>事業内容 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。総合市民図書館は、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行うとともに、業務委託された図書館の運営状況を検証する。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 貸出件数 390万件/年	H28年度 391万件/年	H29年度 392万件/年	H30年度 393万件/年	H31年度 394万件/年
予算額(千円)	137,756	138,652			
決算額(千円)	136,566				
執行率(%)	99.1				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度の取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                  ・NPO法人に辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。                  ・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証するとともに、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行った。                  ・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。</p>				
評価の理由	<p>辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の2館とも円滑に運営され、従来の図書館サービスの水準を維持できている。</p>				
今後の方向	<p>総合市民図書館は、NPO法人に運営業務を委託した辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館に対して、今後とも施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を引き続き行う。</p>				
H28年度事業計画	<p>H28年度事業計画 NPO法人による辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能に ついての検証を継続する。</p>				
課題・問題点	<p>課題・問題点 辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館が引き継ぎ賃の高い図書館サービスを維持できるよう、2館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能を検証していく。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 423	事業名 総合市民図書館整備事業	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合)		
<p>事業目的 安心して快適な読書環境を整備し、市民の満足度の向上を図る。</p> <p>事業内容 市民が安心して利用できる図書館施設を維持していくために4市民図書館の施設修繕と改修工事を行う。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●施設修繕及び改修工事	H28年度 老朽化と予算の状況で個別に実施 ●総合市民図書館視聴覚ホール空調設備改修工事	H29年度	H30年度	H31年度
予算額(千円)	20,498	4,731			
決算額(千円)	16,610				
執行率(%)	81.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>H27年度の取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                  ・総合市民図書館2階視聴覚ホール空調設備改修工事実施した。                  ・安心して快適な環境を利用者に提供することができた。</p>				
評価の理由	<p>老朽化した施設の維持・管理のため、計画的に施設修繕と改修工事を実施していく。</p>				
今後の方向	<p>老朽化した施設の維持・管理のため、計画的に施設修繕と改修工事を実施していく。</p>				
H28年度事業計画	<p>H28年度事業計画 総合市民図書館全熱交換機一体型外調機の改修工事を行う。</p>				
課題・問題点	<p>課題・問題点 各施設の状況を把握し、利用者への影響がないように、引き続き、老朽化した施設設備の修繕計画を立て、施設修繕と改修工事を行う必要がある。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 424	事業名 図書館情報ネットワーク事業	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合)	
資料・情報の迅速・的確な提供により市民サービスの向上を図る。				
事業目的 図書館情報ネットワークシステムの維持管理及び県内公立図書館・市内大学図書館との連携を推進する。				
事業内容 図書館情報ネットワークシステムの維持管理等				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
48万件	49万件	50万件	51万件	52万件
●図書館情報ネットワークシステムの維持管理等				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
48万件	49万件	50万件	51万件	52万件
予算額(千円)	39,245			
決算額(千円)	39,236			
執行率(%)	100.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4館コンピュータシステム及び機器の維持管理並びに11室の利便性の向上が図られた。</li> <li>・図書館ホームページからの予約件数 48万件</li> <li>・図書館ホームページからの予約件数 49万件</li> <li>・県内公立図書館及び市内大学図書館と連携を図り市民サービスの向上を図った。</li> <li>・湘南地区図書館連絡会を開催し、近隣市図書館と情報交換を行った。</li> <li>・市内4大学図書館と相互協力関係者勉強会を開催し、情報交換を行った。</li> <li>・市民図書館のオンライン化に向けて、事務の見直しなど検討を行った。</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館コンピュータシステムの維持管理を行い、利用者の利便性の向上が図られた。</li> <li>・4館11室ネットワークシステムの充実及び県内公立図書館や市内大学図書館の連携が図れた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4館11室のネットワークシステムの更なる充実を図るとともに、県内公立図書館や市内大学図書館の1層の連携強化を図ることにより、図書館サービスの更なる向上に取り組んでいく。</li> </ul>				
H28年度事業計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年のシステムのリリースに向けて、平成29年度に実施予定のプロポーザルの準備を行う。</li> <li>・市民図書館について、4館11室を一元管理し、市民の利便性の向上を図るために、平成30年10月のリリースと同時にオンライン化を実施することの検討をさらに進める。</li> </ul>				
課題・問題点				
市民ニーズの多様化や高度情報化社会に対応するため、平成30年度の図書館コンピュータシステムのリリースに向け、新たな機能の追加として市民図書館の蔵書登録とオンラインシステム化を計画している。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 425	事業名 障がい者・高齢者への宅配サービス事業	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館 変更(ある場合)	
図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用を可能にし、市民サービスの向上を図る。				
事業目的 図書館・図書室により図書館資料を宅配する。				
事業内容 図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し、ボランティアにより図書館資料を宅配する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
7,450件	7,600件	7,750件	7,900件	8,050件
●宅配サービス事業の実施				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
7,450件	7,600件	7,750件	7,900件	8,050件
予算額(千円)	673			
決算額(千円)	637			
執行率(%)	94.7			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果				
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用者数 2,036人</li> <li>・貸出資料件数 7,753件</li> <li>・自動車でのボランティア活動に対応するボランティア保険加入手続きを行った。保険対象者 50人</li> <li>・広報ふじさわに宅配サービスの利用者及びボランティアの募集記事掲載を行った。</li> <li>・ボランティア交流会を開催した。11月19日(木) 参加者17名</li> <li>・職員とボランティアが協力して宅配利用者に資料の紹介をするための方法について検討した。</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア保険を活用することにより、ボランティアの活動範囲が広がり、待機ボランティアの解消につながった。</li> <li>・利用者一人あたりの貸出件数が増加している。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域の利用希望者に対応できるよう、ボランティアの確保を図ることもボランティアの養成をしていく。</li> <li>・今サービスを利用している利用者に対し、資料の紹介を行うことにより多くの資料にふれられるようにしていく。</li> </ul>				
H28年度事業計画				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる宅配サービスの実施</li> <li>・広報ふじさわ、館内ポスター掲示、図書館ホームページ等による事業のPR及びボランティアの募集</li> <li>・ボランティア交流会の開催</li> </ul>				
課題・問題点				
市内全域の利用希望者について募入及び対応可能とするためのボランティアの確保とマッチングが課題である。利用希望者及びボランティア希望者によりわかりやすく事業を周知するためのPR方法を検討する必要がある。ボランティアから宅配利用者に対し、本の紹介をしたいという提案があったことから、実施できるような具体的な方法等を検討する。				





平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	生涯学習総務課	
432	藤沢公民館・村岡公民館再整備事業	生涯学習部	生涯学習総務課			
<p>事業目的                      ・老朽化し手狭な状況の公民館の再整備を行い、バリアフリー化や施設の拡充などを行うことにより、市民がより一層学習活動や地域コミュニティ活動に参加しやすい施設とする。                      ・施設の安全性を確保するとともに、地区防災拠点としての機能向上を図る。</p> <p>事業内容                      ・藤沢…労働会館等との複合化による再整備を行う。                      ・村岡…地区のまちづくりの状況等を踏まえ、再整備を検討する。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●藤沢公民館	●実施設計	●建設工事	→	●供用開始
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	●村岡公民館	→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0	0			
決算額(千円)	0					
執行率(%)	0.0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	<p>●藤沢公民館・労働会館等複合施設建設基本計画に対するH27年度末の成果</p> <p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【藤沢公民館再整備事業】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討プロジェクト・協議を4回実施(H27まで計14回)。</li> <li>・藤沢公民館建設検討委員会を4回開催(藤沢公民館主催・H27まで計6回)</li> <li>・地域団体及び施設利用者等への説明会を対象別に計2回開催(藤沢公民館主催・H27まで計24回)</li> <li>・基本設計の策定</li> <li>・家屋調査(事前)の実施(産業労働課)</li> <li>・敷地測量の実施(産業労働課)</li> </ul> </li> <li>【村岡公民館再整備事業】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・村岡郷土づくり推進会議から提出された「村岡公民館建て替えに関する要望書」に対し回答を提出した。</li> </ul> </li> </ul> <p>評価の理由                              ・藤沢公民館・労働会館等再整備事業において、庁内プロジェクトや藤沢公民館建設検討委員会、各説明会を経て、計画どおり基本設計を策定することができたため。</p> <p>今後の方向                              【藤沢公民館の再整備について】                              ・平成31年度の供用開始に向け、産業労働課を中心に庁内各課等と連携して、基本構想にあるスケジュールどおりに再整備事業を進めていく。                              【村岡公民館の再整備について】                              ・地域からの要望書に対し回答を提出したことから、再整備の実現に向け、検討を進めていく。</p>					
課題・問題点	<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【藤沢公民館再整備事業】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の供用開始に向け、複合化後の管理運営方法等について引き続き検討が必要である。(現行、管理運営方法は施設によって、市直営、委託、指定管理者制度、民営と異なっている)</li> <li>・(仮称)生涯学習活動推進室の具体的な使用方法等について検討が必要である。</li> </ul> </li> <li>【村岡公民館再整備事業】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設予定地周辺におけるインフラ等を始めたとした課題整理等を行う必要がある。</li> </ul> </li> </ul>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	文化芸術課	
511	市民ギャラリー事業	生涯学習部	文化芸術課			
<p>事業目的                      ・市民文化の支援と育成を図るとともに、市民の創作活動の充実を図る。</p> <p>事業内容                      ・市民の美術創作活動の推進及び美術作品鑑賞のための主催・共催等の事業を行う。                      ・公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年)・藤沢市展・芸術文化展など</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●公民館サークル美術写真展	●公民館サークル美術写真展	●公民館サークル美術写真展	●公民館サークル美術写真展	●公民館サークル美術写真展
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	●カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年で実施)	→	→	→	→	→
予算額(千円)	130	140				
決算額(千円)	127					
執行率(%)	97.7					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第65回藤沢市展 入場者数6,880人</li> <li>・第18回カナガワビエンナーレ国際児童画展 2015年9月15日(火)～9月20日(日) 入場者数522人</li> <li>・芸術文化展 2015年11月3日(火)～11月8日(日) 入場者数250人</li> <li>・公民館サークル美術展 2015年11月24日(火)～11月29日(日) 入場者数1,129人</li> <li>・公民館サークル写真展 2014年12月1日(火)～12月6日(日) 入場者数1,024人</li> <li>・公民館サークル写真展 2016年1月12日(火)～1月17日(日) 入場者数709人</li> <li>・高等学校美術展 2016年1月12日(火)～1月17日(日) 入場者数771人</li> </ul> <p>評価の理由                              ・入場者数は、昨年度に比べて概ね増え、よりよい方向に向かっていると考えられるため。</p> <p>今後の方向                              ・さらに内容の充実を図っていくため、各事業の実行委員会において、今後も検討を進めていきたい。</p>					
課題・問題点	<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第66回藤沢市展</li> <li>・芸術文化展</li> <li>・公民館サークル美術展</li> <li>・公民館サークル写真展</li> <li>・高等学校美術展</li> </ul> <p>課題・問題点                              ・各事業の実行委員会において、前年度の反省点を踏まえた内容の検討を行い、入場者数等の増加に努めている。</p>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 512	事業名 文化芸術振興事業	担当部 担当課	生涯学習部 文化芸術課		
事業目的 本市が草年培ってきた文化基盤と、市民が持つ熟成された芸術的能力を生かし、市民を主体とした文化芸術活動などを総合的に展開することにより、文化芸術創造都市として、市民が誇れる文化の創造・発展と、文化の薫りあふれるまちづくりを推進する。					
事業内容 *ゆとりと潤いの実感できるような豊かな市民生活の実現のため、芸術鑑賞事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、文化芸術の鑑賞機会や活動の機会のさらなる充実を図るとともに、市民とパートナーシップによる文化芸術の推進や、魅力ある文化創造の発信に向けた総合的な文化芸術事業の展開を図る。 *市民文化振興事業を安定的・継続的に実施するため、「藤沢市文化振興基金」への積立・運用を行う。 (市民オペラなどの音楽事業・観劇などの演劇事業・若い世代の育成のためのアウトリーチ事業・文化芸術団体による文化事業・文化振興基金積立事業)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 31,000人	H28年度 31,500人	H29年度 32,000人	H30年度 32,500人	H31年度 33,000人
予算額(千円)	119,557	116,274			
決算額(千円)	119,537				
執行率(%)	100.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・音楽事業の実施 5,163人 ・演劇事業の実施 3,256人 ・アウトリーチ(学校訪問)事業の実施 1,956人 ・文化事業の実施 13,522人 ・文化振興基金積立事業 合計17件 1,324,998円の寄付があった。				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・計画とおりの事業を行うことができ、文化芸術の発信ができてきていると考えられるため。 今後の方向 ・引き続き、市民を主体とした文化芸術活動を総合的に展開し、文化芸術の鑑賞や活動の機会のさらなる充実を図る。また、今後の文化芸術事業のあり方について、協議・検討を行う。				
評価	評価の理由 ・計画とおりの事業を行うことができ、文化芸術の発信ができてきていると考えられるため。 今後の方向 ・引き続き、市民を主体とした文化芸術活動を総合的に展開し、文化芸術の鑑賞や活動の機会のさらなる充実を図る。また、今後の文化芸術事業のあり方について、協議・検討を行う。				
評価	H28年度事業計画 ・音楽事業 ・演劇事業 ・アウトリーチ(学校訪問)事業 ・文化事業 ・文化振興基金積立事業				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 513	事業名 市民文化創造事業	担当部 担当課	生涯学習部 文化芸術課		
事業目的 市民に元気を与え、地域社会を活性化させるため、魅力ある文化の創造・発展に努める。					
事業内容 文化芸術団体を始め、市民・NPO・ボランティアや企業などと行政が連携・協働して、文化芸術の人づくりや場づくりを進め、子どもから青少年をも含めた将来の藤沢の文化芸術を担う人材の育成など、一人ひとりの個性や目らしさを引き出し、多種多様な文化芸術の発見と発展につなげる。 (こころの劇場小学生招待事業・市民シアター第九演奏会(3年に1回開催)・市民力・地域力向上のための事業の検討・実施)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 4,000人	H28年度 3,900人	H29年度 3,700人	H30年度 3,800人	H31年度 3,900人
予算額(千円)	6,970	5,215			
決算額(千円)	6,970				
執行率(%)	100.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・「こころの劇場」小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2015年6月25日(木)、26日(金) 4公演 演目 ミュージカル「むかしむかしソウがきた」 参加 市内37校(私立2校含む)4,198人 ・市民シアター第九演奏会 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2015年12月27日(日) ・みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 開催日 2016年2月13日(土)、14日(日)				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・計画とおりの事業を行うことができ、小学校長会・関係団体との連携・調整がスムーズに行われたと考えらるため。 今後の方向 ・事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。				
評価	評価の理由 ・計画とおりの事業を行うことができ、小学校長会・関係団体との連携・調整がスムーズに行われたと考えらるため。 今後の方向 ・事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。				
評価	H28年度事業計画 ・「こころの劇場」小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2016年6月2日(木)、3日(金) 4公演 演目 ミュージカル「エルゴスの祈り」 ・みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 日程 2017年3月11日(土)、12日(日)				
課題・問題点	・平成27年度から「こころの劇場」小学生招待事業の実施については、例年より児童数が増え、4公演での実施とし、今後も増加傾向が続くため、4公演での実施に向け劇団四季と調整を図る必要がある。				



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
516	アーティストスペースの整備・運営事業	生涯学習部	文化芸術課					
<p>事業目的 芸術家等の創作活動の支援、芸術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を主な目的に、本市の芸術振興の拠点施設として整備する。</p> <p>事業内容 美術の振興を図る新たな機能を持つ施設として、アーティストスペースを整備する。 レジダンスルーム(アトリエ)、展示ルーム等の整備 ・個展やグループ展など、幅広い分野の美術作品の展示 ・若手芸術家等の創作活動及び展示・発表等の支援等</p>								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		開設・供用開始 入場者及び利用者数		→	→	→	→	→
予算額(千円)		64,360		68,098				
決算額(千円)		60,182						
執行率(%)		93.5						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		年間来館・来場者数約 24,000人 神台公園会場観覧者約17,000人		H27年度の 総合評価		H28年度の 総合評価		H29年度の 総合評価
度末の成果				B				
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストスペース閉館直前シンポジウムの開催 2015/8/30</li> <li>・講演会:美術館は何をばはじめるのか</li> <li>講師:神奈川県立近代美術館長 水沢 勉</li> <li>・ハナネル・イズカッソン・アートが導く!「文化都市・藤沢」の新たな展開に向けて、パネリスト:神奈川芸術文化財団学芸員中野仁詞 他2人、司会:美術評論家 岡部あおみ</li> <li>・参加者114人</li> <li>・開館記念特別展覧会「From now on!!」の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期:10/3-11/3 参加作家:4人</li> <li>第2期:11/7-12/6 参加作家:3人</li> <li>第3期:12/12-1/17 参加作家:2人</li> </ul> </li> <li>・企画展Ⅱ「まちをとらえる一記憶のドキュメント」の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/23-2/28 参加作家:4人</li> <li>・来館者数1,173人</li> </ul> </li> <li>・企画展Ⅲ「みつけること/またみつけること」の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>3/5-4/10 参加作家:4人</li> <li>・来館者数1,389人 神台公園会場観覧者数 約17,000人</li> </ul> </li> </ul> <p>課題・問題点 ・アーティストスペースがある湘南C-XC2街区は、特別喜劇形地区であり、広告看板等の掲出について、きめ細やかな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。 ・施設の周知等について、他の公共的な施設や地域地域の商店街、及び民間施設と連携をしていく必要がある。</p>								
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな美術を中心とする文化芸術を発信する施設として供用開始し、様々なメディアを利用し周知を行ったが一般市民の知名度はまだ低いと考えられる。神台公園会場の観覧者数を合わせると当初の目標を上回る人数となり、若手芸術家を支援するという基本方針に沿って、当初の予定通りの事業がすべて実施することができた。</li> <li>・引き続き若手芸術家等の創作活動の支援、美術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を行うため、様々な事業を実施していく。</li> </ul> <p>課題・問題点 ・公募による公開制作展の開催:多彩な創作活動に携わるアーティストから制作したい作品と展示についてのプランを全国から広く募集し開催する。 ・藤沢(湘南)ゆかりの作家展:藤沢を中心として湘南地域で活動する若手作家を紹介する展覧会を3回開催する。  </p>								

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
517	文化ゾーン再整備事業	生涯学習部	文化芸術課					
<p>事業目的 市民会館、南市民図書館については、文化芸術を牽引する文化ゾーンに位置し、ともに老朽化や機能劣化が著しい状況であるため、再整備を基本に、当該地域を活用した周辺公共施設の機能集約も検討する。</p> <p>事業内容 老朽化や機能劣化が著しい市民会館と南市民図書館について、周辺公共施設の機能集約も検討する。</p>								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		基本構想策定 庁内検討		●在り方の検討	→	→	→	→
予算額(千円)		0		930				
決算額(千円)		0						
執行率(%)		0.0						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		企画政策課主体の庁内検討はなされなかった が、文化芸術課、総合市民図書館において、再整備に向けた検討等を行った。		H27年度の 総合評価		H28年度の 総合評価		H29年度の 総合評価
度末の成果				D				
<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(文化芸術課)基本構想策定に向けた市民アンケート調査及び利用団体ヒアリングを行い、結果がレポートとしてまとまっている。この中で、市民会館として、どの程度の施設規模とするのか、どのような機能を持てるのか、また文化ゾーンなのか、どのような機能を持たせた複合施設とするのかについて提案がなされている。</li> <li>・(総合市民図書館)平成27年度は、学識経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を設置し、検討委員会6回及び先進図書館視察を行い、4市民図書館11市民図書室の役割と新たな施設・設備・機能や図書館サービス等について検討を行い、検討委員会として中間報告をまとめた。</li> </ul> <p>課題・問題点 ・市民会館、南市民図書館ともに旧耐震基準で建設され、老朽化や機能劣化が進んでいる。 また、当該地区が文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっている。 ・市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また、文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設としていくのか引き続き検討が必要である。</p>								
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(文化芸術課)総合市民図書館において、再整備に向けた検討等を行ったが基本構想策定につながらず、動きには至っていない。</li> <li>・(総合市民図書館)平成27年度は、学識経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を設置し、検討委員会6回及び先進図書館視察を行い、4市民図書館11市民図書室の役割と新たな施設・設備・機能や図書館サービス等について検討を行い、検討委員会として中間報告をまとめた。</li> </ul> <p>課題・問題点 ・市民会館、南市民図書館ともに旧耐震基準で建設され、老朽化や機能劣化が進んでいる。 また、当該地区が文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっている。 ・市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また、文化ゾーンのなかで、どのような機能を持たせた複合施設としていくのか引き続き検討が必要である。</p>								

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 521	事業名 歴史遺産保存整備活用事業	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課	
事業目的 歴史・文化の継承や地域の特性を生かした文化の発展を図る。		変更(ある場合) 年次取組計画を変更(H28)		
事業内容 市内に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、歴史的資産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図られるように整備する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定
1件	1件	1件	1件	1件
●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録
1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整
実施	→	→	→	→
予算額(千円)	280	290		
決算額(千円)	280			
執行率(%)	100.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	市指定文化財は目標値を超えて3件新たに指定。国登録文化財は目標値を超えて4箇所を新たに登録。			
年度末の成果	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●市指定文化財 遊行寺境内の中雀門、青銅製灯籠、常光寺の木造地藏菩薩立像の3件の指定をした。 ●国登録有形文化財 辻堂太平台に所在する月山堂滴水庵の主屋、待合、大門の3件、遊行寺境内の本堂、御書方、小書院、百間廊下、回向堂、宇賀神社、鐘樓、手水舎、物門、石垣及び築地塀の10件、旧藤沢酒内の岡次商店穀物蔵、肥料蔵の2件、旧福元屋呉服店内蔵、一番蔵の2件、合わせて4箇所17件の登録ができた。 ●候補物件の調査 盛岩寺境内に移築された、旧雨谷商店店舗兼主屋を登録文化財の候補として調査を実施した。 ●江の島道沿いの歴史的建造物の所在調査を実施。			
評価	H27年度の総合評価 A			
次年度	継続			
評価の理由 計画を上回る件数の物件について指定、登録をすることができた。 ●市指定文化財 今後の方向 ●市指定文化財 候補物件の調査のための予算要求 ●国登録文化財 街なみ継承地区については、引き続き街なみ景観課と連携しながら優先的に進める。 ●江の島道沿いの建造物については、片瀬市民センターと連携を図って進める。				
課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されてたため公開・活用が難しい。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 522	事業名 文化財保護事業	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課	
事業目的 歴史的遺産の後世への継承と地域文化財の活用を推進する。 ●郷土愛と豊かな心を育てる。		変更(ある場合) 変更(ある場合)		
事業内容 文化財の調査・研究・保存・管理、普及・活用及び埋蔵文化財の調査等を実施する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●遺跡調査速報展の開催	●遺跡調査速報展の開催	●遺跡調査速報展の開催	●遺跡調査速報展の開催	●遺跡調査速報展の開催
●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付
●江の島道標の移設	●江の島道標の移設	●江の島道標の移設	●江の島道標の移設	●江の島道標の移設
●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置
実施	→	→	→	→
予算額(千円)	2,370	3,613		
決算額(千円)	2,304			
執行率(%)	97.2			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	遺跡調査速報展の開催 3,201名 保存管理奨励交付金の交付 1,520,000円 修理等補助金の交付 397,060円 江の島道標の移設 2箇所 文化財説明板の設置 2箇所			
年度末の成果	H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●遺跡調査速報展 「ふたつの考古資料展」として11/17～1/24(53日間)、藤沢市民ギャラリー一常設展示室にて開催した。入場者は3,201名である。 ●保存管理奨励交付金の交付 40管理者69件の指定文化財に対し、1,520,000円交付した。 ●修理等補助金の交付 鷗沼皇大神宮入形山車修理(仲町・清水町)に対し、597,060円交付した。 ●江の島道標の移設 市役所本館前に設置されていた江の島道標を、藤沢橋脇と低上公園に移設した。 ●文化財説明板の設置(186,840円) 旧後藤院徳沼分院、江の島道標(低上公園内)の文化財説明板を設置した。			
評価	H27年度の総合評価 B			
次年度	継続			
評価の理由 ●ほぼ計画通りに事業を行うことができた。 ●江の島道標の移設については、移設予定を終了した。 ●今後の方向 ●文化財保護に関して、継続的に行っていく。				
課題・問題点 ●説明板の設置については、限られた予算の中で行うため、新指定文化財があっても、すぐに対応できない。 ●修理等補助金については、必要が生じても事前に予算化できないため、すぐに対応するのが難しい。				
H28年度事業計画 ●遺跡調査速報展については、大地に刻まれた藤沢の歴史と同時に関係する。 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(遊行寺 中雀門、青銅製燈籠、常光寺 木造地藏菩薩立像)の管理者に追加で交付する。 ●修理等補助金については、鷗沼入形山車(原町)と常光寺木造地藏菩薩立像の修理に交付する。 ●文化財説明板は新たに遊行寺青銅製燈籠に設置する。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 523	事業名 広域連携展示事業	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課
事業目的 広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用に よる幅広い公開活用事業の展開を図り、それにより市民へ多様な 公開を行う。		変更(ある場合) *参加者総数を変更(H28)	
事業内容 茅ヶ崎市美術館を利用した共同作業による展示会を、広域文化活 動部会事業に位置づけ開催する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●合同美術展実施 入場者数 3,000人	H28年度 ●合同美術展実施 中止	H29年度 ●合同美術展実施 中止
予算額(千円)	1,124	0	
決算額(千円)	0		
執行率(%)	0.0		
年次ごとの取組計 画(年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果	広域連携展示事業 参加者総数(3,606人)		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●湘南地域の文化振興を図るために、藤沢市、茅ヶ崎市、 寒川町にゆかりのある作品を展示する展示会を開催した。</p> <p>名称：「絵はがきになった湘南の風景」 開催期間：平成27年12月6日(日)～平成28年1月31日 (日)</p> <p>会場：茅ヶ崎市美術館 展示室1 観覧料：無料 関連事業：展示関連講演会「絵葉書に見る南湖院」 茅ヶ崎市 平成27年12月13日(日) ギヤラリー・アート・ク(市)市担当者による展示(韓説) 茅ヶ崎市 平成28年1月9日(土) 茅ヶ崎市 平成28年1月16日(土) 茅ヶ崎市 平成28年1月23日(土)</p> <p>展示資料：54点 観覧者数：3,606人(1日平均観覧者数：88人)</p>		
評価の理由	<p>●平成27年度目標値より812人増となったため。</p> <p>●平成27年度目標値の達成が確実であり、平成26年 度参加者総数より812人増となったため。</p>		
今後の方向	<p>●湘南広域都市行政協議会の湘南広域文化交流事 業と広域連携展示事業を一つに統合し、新顔(財) 神奈川県市町村振興協会市町村広域行政助成事 業を実施する。</p>		
H28年度事業計画		H29年度事業計画	
●広域文化活動事業として担当が文化芸術課に変更			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 524	事業名 文化財収蔵庫整備事業	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課
事業目的 文化財収蔵施設の集約化と適正な文化財の収集・整理・保管・活 用		変更(ある場合) 年次取組計画を変更 事業名を変更(H28)	
事業内容 市内各所に分散、老朽化した収蔵施設の集約化と文化財の適正な 収集・整理・保管・活用ができる施設について検討を進める。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 保管施設整備方針決定 保管施設整備基本構想策定	H28年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 保管施設整備方針決定 保管施設整備基本構想策定	H29年度 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 保管施設整備方針決定 保管施設整備基本構想策定
予算額(千円)	0	0	
決算額(千円)	0		
執行率(%)	0.0		
年次ごとの取組計 画(年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果	<p>●収蔵施設を整備するにあたっての基本的な 方針について検討した。</p>		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収 蔵庫の集約に向けた文化財の整理方針と、新たな収蔵庫 に必要な機能等について検討した。また、近々使わなくな る公共施設を洗い出し、利用可能性を検討したが、公共施 設の再利用については、収蔵庫として使用するための施設の 改築や老朽化にもなうメンテナンス経費の負担増など多 くの課題があることがわかった。そのため、公共施設の再 利用はせず、文化財収蔵専用の新たな施設を整備するこ とを目指して検討を進めることとした。</p>		
評価の理由	<p>●不用公共施設建物の再利用について検討し、今後 の取り組みの方向性としては、採用しないこととし た。そのような検討の過程を一段階済み、目標を達 成した。</p>		
今後の方向	<p>●将来的に文化ゾーン再整備地区内に市民キヤ ラーが移設される計画があるため、常設展示室の バックヤードとして現在分散している収蔵施設をまと め、この地区内に整備することを視野に入れて検討 したい。</p>		
H28年度事業計画		H29年度事業計画	
●前年度までの検討内容をふまえ、現存する収蔵品 の整理と、今後の文化財の収集に関する考え方をま とめる。		●新たな収蔵庫の規模、必要な機能等を整理し、保 管施設整備方針をまとめることにも、文化ゾーンの可 再整備計画に保管施設の整備を組み込むことの可 能性を検討する。	
課題・問題点 ●現在の収蔵庫が縮小状態にあるため、現存する収蔵品 を整理するためには新たなスペースが必要となる。新たな 保管施設整備までの間、公共施設を再利用してスペース を確保することが必要。 ●また、膨大な量の収蔵品があるため、現在の執行体制で は、整理作業に係る人員の確保が難しい。外部委託等の 検討が必要。			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	郷土歴史課	
525	映像資料保存公開事業					
<p>市民との協働によって映像記録の収集・公開を行い、市民の生涯学習の向上と歴史や民俗・文化の継承を図る。</p> <p>事業目的                      ・現在保有する映像資料を劣化から守るため、新たなメディアに保存するなど整備を進め、将来の市民に映像資産を引き継ぐ。                      ・フィルムの点検・清掃・修繕                      ・フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成                      ・市民との協働で上映会開催及び映像資料の調査・収集                      ・記録映画等を制作して地域文化を継承</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●フィルム資料のDVD化・上映会開催				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施 ●記録映画制作	→	→	→	→	→
	準備		実施			
	シナリオ調査		撮影・編集			
予算額(千円)	119					
決算額(千円)	119					
執行率(%)	1000					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	所蔵フィルムのDVD化 1本 上映会開催 1回					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●所蔵フィルム(ライフタウン開発の記録映画シリーズの1)をDVD化した。</p> <p>●まちづくりパートナーシップ事業として、NPO法人湘南市民メディアネットワークとの協働により、11本のふじさわ郷土民俗・文化映像を制作し、映像の上映会を開催した。</p>					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●フィルム上のDVD化、映像上映会を予定しており実施した。</p>					
	<p>評価の理由                      ・フィルムをDVD化、映像上映会を予定しており実施した。</p>					
	<p>今後の方向                      ・所蔵フィルムをDVD化を推進して保存を図るとともに、貸出や上映会に対応できるようにする。</p>					
	<p>H28年度事業計画                      ・保存フィルム1本のDVD化を実施。                      ・記録作成対象の選定を行い、実施計画を立てる。</p>					
<p>課題・問題点                      ・フィルムのDVD化に当たり、音楽に残すものとして、映像の品質が十分ではない。</p>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	郷土歴史課	
526	歴史的建造物維持活用事業					
<p>郷土の歴史・文化遺産として歴史的建造物を維持・保存することにも、公開、活用することで文化の向上を図る。</p> <p>事業目的                      ・旧三冨八郎右衛門家住宅等、歴史的建造物の維持・保存                      ・古民家を活用した事業の実施</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●旧三冨家の公開 ●古民家を利用した事業 ●新たな古民家の活用検討				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	4,482					
決算額(千円)	4,191					
執行率(%)	93.5					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	旧三冨家の公開 1,153人 古民家を利用した事業 6回 旧稲元屋の蔵について利用を検討した。					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●旧三冨邸の公開を、明治地区郷土資料室に委託して、週2回(10時～15時)実施した。来館者 1,153人                      ・古民家を活用した事業として、旧三冨邸で和楽器演奏会を2回、講演会を1回、旧小池邸で紙芝居を2回、音話を1回開催した。                      ・旧稲元屋の蔵の国登録有形文化財の登録にとまない、公開、活用の検討をした。</p>					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●概ね計画とおりの事業を実施できた。</p>					
	<p>評価の理由                      ・引き継ぎ、旧三冨邸を中心に歴史的建造物の維持、活用を図る。</p>					
	<p>今後の方向                      ・旧三冨邸の公開(週2日、10時～15時)                      ・旧三冨邸、旧小池邸を活用した事業の実施。                      ・旧稲元屋の蔵の活用方法の検討。</p>					
<p>課題・問題点                      ・歴史的建造物の公開、活用については、所有者の意向や修繕等にかかる経費などにより、円滑に進めることが困難である。</p>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 527	事業名 歴史資料公開活用事業	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課
事業目的 歴史資料公開活用事業の実施 変更(ある場合)			
事業内容 展示会開催等により、地域の歴史・文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図る。 地域施設における展示事業実施、学校等における郷土資料講座の 実施、電子博物館の整備等、公開活用事業の充実を図る。			
H27年度 ●歴史資料公開活用事業の実施	H28年度	H29年度	H30年度
展示会開催延日数 300日	300日	300日	300日
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	300日	300日	300日
予算額(千円)	3,707		
決算額(千円)	3,231		
執行率(%)	87.2		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果	展示会開催延日数(303日)		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
・常設展示室展示会：「鳥瞰図(空から見た世界)展」等5 件。開催日数199日 ・地域(図書館等)開催展示会：「東海道藤沢宿パネル展 (藤沢公民館)」、国室「一巡聖絵パネル展」等6件。開催 日数69日 ・年中行事ミニ展示(新林公園)：「こいのぼりと室内飾り」 「おひなさま」開催日数35日 ・小学生のための郷土資料講座 17校54クラス ・電子博物館「みゆネットふじさわ」のリニューアル。スマー トフォン版の開設。	・常設展示室以外の図書館等での展示活動の充実 が図られたため。 ・引き継ぎ公開活用事業の充実が図られる。		
	今後の方向		
	H28年度事業計画		
	・常設展示室展示会：「ちよつとむかしの道具展」ほか 5件 ・ふじさわ宿交流館郷土資料展示室での宿場関連展 示の実施 ・地域(図書館等)開催展示会：「交流館開館記念パ ネル展」の開催 ・小学生のための郷土資料講座「考古」「民俗」の実 施 ・洋世絵館ホームページと連携した「みゆネットふじさ わ」の充実		
課題・問題点 ・平成28年度に開催するふじさわ宿交流館、藤澤洋世絵 館及びアートスペースの3施設が連携した公開活用事業の 実施。			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 528	事業名 事業目的 旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な 取組と併せて地域の活性化に繋がる活用を図る。	担当部 担当課	生涯学習部 郷土歴史課
事業目的 旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な 取組と併せて地域の活性化に繋がる活用を図る。			
事業内容 旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学ぶ、休憩や交流の場とし ても活用できる施設として(仮称)ふじさわ宿交流館を整備する。 ・藤沢宿の歴史・文化・なごわいの紹介 ・伝統芸能の発表の場の提供 ・地域の活性化のための事業実施			
H27年度 ●ふじさわ宿交流館の整備・運営	H28年度 新築工事 利用者数 25,000人	H29年度	H30年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	26,000人		
予算額(千円)	214,457		
決算額(千円)	154,880		
執行率(%)	72.2		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標 値)に対するH27年 度末の成果	新築工事について、年度末までに竣工できず 継続している。		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
・6月議会に案例案を上げ、議決した。 ・議決後、指定管理者の選定を行った。 ・8月10日、新築工事を建築・電気・設備に分けて発注し た。 ・12月議会に指定管理者の指定議案を上げ、議決した。 ・3つの工事のうち、建築工事については、年度末までに竣工 せず事故継続となった。 ・運営、活用についての地域・関係団体等との意見交換会 を2回実施した。 ・藤沢地区郷土づくり推進会議、藤沢東部・西部自治連総 会それぞれ交流館建設の進捗状況、運営、活用方法に ついて説明した。	・新築工事が完了しなかったため。 ・平成28年4月1日から藤沢市観光協会が指定管理 者として運営準備を行い、4月29日に閉館予定。展 示業務は市が行い、各種イベント、PRは主に指定管 理者が行う。また、地域の市民活動団体等と連携 し、地域ににぎわいの創出を目指す。		
	今後の方向		
	H28年度事業計画		
	・4月29日閉館 ・運営協議会の開催 ・伝統芸能等各種イベントの実施 ・藤沢宿のPR ・市民団体との協働事業の実施		
課題・問題点 ・交流館をいかに市内外にPRするか、そして集客を地域の 活性化ににぎわいの創出に繋げていくかを、指定管理者、 地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践してい く。			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 529	事業名 （仮称）藤澤浮世絵館の整備・運営事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課	計画建設部 街なみ景観課	
事業目的 これまで市が収集してきた浮世絵額を中心とした資料を市民を被め多くの人に見ていただく場を提供することにより、郷土の歴史・文化についての関心を喚起し、郷土愛あふれる藤沢の実現に資する。					
事業内容 市民等が気軽に訪れ、学び、眺めるスペースの設置 ・地図や写真などのデジタル資料も駆使した地域の歴史の紹介 展示を中心とした（仮称）藤澤浮世絵館を整備する。 ・東海道、藤沢宿、江の島など所蔵する浮世絵の特色を活かした展					
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
●（仮称）藤澤浮世絵館の整備・運営					
年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）	設置工事 利用者数 10,000人	開館 利用者数 10,000人	20,000人	20,500人	21,000人
予算額(千円)	168,000	62,866			
決算額(千円)	160,651				
執行率(%)	95.6				
年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）	設置工事達成率100%				
度末の成果					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月19日に27年度第1回活用検討会議を開催した。</li> <li>・9月に工事の発注を行った。</li> <li>・10月1日付で、主任学芸員として常勤嘱託職員を採用した。</li> <li>・1月15日に、第2回活用検討会議を開催した。</li> <li>・2月末に工事が竣工した。</li> <li>・2月議会に案例案を上程、議決した。</li> </ul>				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定どおり工事が竣工し執行体制も整ったため。</li> </ul>				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年7月の開館に向けて準備を進める。</li> </ul>				
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月、浮世絵館専門員として、非常勤職員4名を採用する。</li> <li>・平成28年7月開館予定。</li> <li>・開館記念展示会及びワークショップ等の事業を開催。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの方に知っていただくためのPR</li> <li>・地域や学校等との連携</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 5210	事業名 景観資源推進事業	担当部 計画建設部	担当課 街なみ景観課	計画建設部 街なみ景観課	
事業目的 街なみ百年祭りに基づく歴史的・文化的な資産の保全、継承と景観まちづくりの推進					
事業内容 ・旧東海道藤沢宿周辺を街なみ継承地区に指定し、歴史・文化を大切にした魅力ある街なみの形成を図る。 ・良質な街なみの形成に向け、街なみ景観フォーラム等を開催し、市民が主体となる景観まちづくりにつなげる。					
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
●歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業)					
年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）	補助事業実施 ●市民主体の景観まちづくりへの意識啓発	→	→	→	→
街なみ景観フォーラム等の実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	8,861	7,550			
決算額(千円)	2,295				
執行率(%)	25.9				
年次ごとの取組計画 （年次ごとの目標値）	歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業)	H27年度の 総合評価	H27年度の 総合評価		
度末の成果	1,267,000円の補助(補助率1/2、上限500万)		C		継続
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業)</li> <li>補助事業実施 ※町家1棟 ※蔵2棟</li> <li>①修景(門扉)工事</li> <li>②耐震診断</li> <li>③外観保全工事</li> <li>・市民主体の景観まちづくりへの意識啓発</li> <li>街なみ景観フォーラム等を開催 参加者合計1,512人</li> <li>*「第25回景観ワークショップ2015」42人</li> <li>*「藤沢今昔まちなかアートめぐり2015 講演会」69人</li> <li>*「景観ワークショップ(130票を歩く！)」全12回 1,386人</li> <li>*「藤沢宿親子まちなかあるき」15人</li> </ul>				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業については、歴史的建造物の維持・保全に対する所有者の理解を得ることが難しい。結果として、初年度でもある平成27年度の進捗は目標を下回ったものである。</li> </ul>				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧東海道藤沢宿街なみについては、歴史的建造物を維持・保全していくことが重要であり、所有者に対して維持・保全の為の支援が必要である。</li> </ul>				
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度から引き続き補助事業を予定している。また、景観まちづくりへの意識啓発として、「まちあるき」や「フォーラム」等の開催を予定している。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力を高めるためには、歴史的建造物の維持・保全だけでなく、その後の利活用をすることが重要であり、検討が必要となってきている。</li> <li>また、5年間の補助事業が終了した後も、歴史的建造物の維持・保全が続く仕組み作りが必要である。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	保健医療部	健康増進課	
G11	健康づくり推進事業	保健医療部	健康増進課			
<p>事業目的 市民が生涯にわたって生活習慣病の予防・改善及び健康・体力の維持・増進を図り、日常生活で適切な生活習慣が身につくよう支援する。</p> <p>事業内容 積極的な健康づくりを行うために、市民を対象に健康度・体力度チェックを経て健康づくりトレーニングを実施する。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●健康度・体力度	●健康度・体力度	●健康度・体力度	●健康度・体力度	●健康度・体力度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	3,458					
決算額(千円)	2,263		3,458			
執行率(%)	65.4					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	健康度 27人 体力度 550人 トレーニング 26,758人					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●健康度・体力度・トレーニング利用状況(3月末現在)</p> <p>*健康度 27人(実・延)</p> <p>*体力度 550人(実・延)</p> <p>*トレーニング 837人(実) 26,758人(延)</p>					
評価の理由	<p>●各事業の利用人数が減少しているため。</p>					
今後の方向	<p>本事業については、生活習慣病予防および重症化予防を目的とする事業として、市内各所で実施し、より多くの人が利用し易い方法を検討していく必要がある。</p>					
H28年度事業計画	<p>●H28年度については、現行の事業内容で実施するとともに、H29年度に向けて事業内容の検討を行う。</p>					
課題・問題点	<p>●トレーニング事業については、H27年度に生活習慣病予防および重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として変更したところではあるが、利用者増加には至っていない。関係機関等との連携を図りながら、必要な対象者が活用できるよう周知を図り、多くの市民の活用を促進する必要がある。</p>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	生涯学習部	
G21	子どもの体力向上対策事業	教育部 <td>生涯学習部 <td></td> <td></td> </td>	生涯学習部 <td></td> <td></td>			
<p>事業目的 小中学生の体力向上のための教育プログラムを研究・実践する。</p> <p>事業内容 (教育指導課) ・市立小学校5年生と中学校2年生を対象に「体力・運動能力テスト」を実施し、その結果を基に、子どもの体力を分析して、子どもの体力向上のための方策を検討する。 (スポーツ推進課) ・新体力テスト実施に向けた測定員の養成と派遣。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●体力・運動能力テスト	●体力・運動能力テスト	●体力・運動能力テスト	●体力・運動能力テスト	●体力・運動能力テスト
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	5,857					
決算額(千円)	5,857		5,799			
執行率(%)	100.0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) 度末の成果	体力・運動能力テストの実施校数54校					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>●原学生徒の体力向上に向けた啓蒙を図ることができた。</p> <p>●希望校には測定員を派遣し、市内54校で実施することができた。</p> <p>●市内小学校32校から測定員の派遣依頼があり、4月20日から6月29日の期間で実施した。</p> <p>●平成25年度より、全校で8種目を測定している。</p> <p>●測定員意見交換会については、11月15日に行い、次年度に向けた検討を行った。</p>					
評価の理由	<p>●市内54校で体力・運動能力テストを実施。</p> <p>●学校との日程調整を含め、事業目的に沿った事業展開を実施できた。</p>					
今後の方向	<p>全種目・全校を対象として、継続実行する。</p> <p>●国や県の動向を踏まえながら検討していく。</p>					
H28年度事業計画	<p>●市内54校で実施</p> <p>●希望校には体力テスト測定員登録台帳の管理</p> <p>●体力テスト測定員登録台帳の管理</p> <p>●市内各学校の派遣要請受付</p> <p>●測定員への謝金・交通費等支払業務</p>					
課題・問題点	<p>●平成25年度から抽出校がなくなり、全種目を全校対象となったため、派遣人員を増やす必要が生じ、派遣員の確保及び予算計上に苦慮した。</p> <p>●測定員を派遣するスケジュールの関係で、実施時期に差が出てしまう。</p>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	スポーツ施設整備事業	担当部	生涯学習部	
			担当課	スポーツ推進課	
		事業目的	変更(ある場合)		
G22	市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しむ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。				
<p>多様な市民ニーズに対応できる施設を整備する必要があり、安全で安心して利用できる施設はもとより、誰もが健康でいづても楽しめる生涯スポーツ環境の充実を図る。また、市内野球場が不足しているため、少年野球場については早期に確保するよう努める。</p>					
<p>事業内容</p> <p>●(仮称)天神スポーツ広場の整備</p> <p>●葛原スポーツ広場野球場2面化整備</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	69,793	157,968			
決算額(千円)	69,793				
執行率(%)	100.0				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>天神スポーツ広場野球場土木工事等 葛原スポーツ広場野球場整備予定地現地測量等</p>				
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>天神スポーツ広場野球場整備工事(土木)を実施 契約日:2016年3月11日 工期:2016年3月11日から2016年7月21日</p> <p>天神スポーツ広場整備に伴う実施設計委託を実施 契約日:2015年3月17日 工期:2015年3月17日から2015年9月30日</p> <p>天神スポーツ広場整備に伴う土壌調査委託を実施 契約日:2015年8月25日 工期:2015年8月25日から2015年11月13日</p> <p>葛原スポーツ広場野球場2面化整備予定地現地測量委託を実施 契約日:2015年12月8日 工期:2015年12月8日から2016年2月29日</p>				
評価の理由	<p>・大清水スポーツ広場閉鎖に伴い施設数は減ったが、天神スポーツ広場野球場の整備に向け土木工事が進んでいる。</p>				
今後の方向	<p>・野球、ソフトボールができる環境整備に向け、天神スポーツ広場及び葛原スポーツ広場の整備。 ・大清水スポーツ広場閉鎖に伴う代替施設確保に向けた取組。</p>				
H28年度事業計画	<p>天神スポーツ広場野球場工事(土木・建築)の実施 天神スポーツ広場整備に伴う土壌調査の実施 葛原スポーツ広場野球場2面化整備に伴う用地測量の実施</p>				
課題・問題点	<p>・スポーツ施設は、建物及び設備において老朽化が進んでいるため、市民が安心して利用できるスポーツ施設として維持する計画の修繕が必要。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	スポーツバリアフリー事業	担当部	生涯学習部	
			担当課	スポーツ推進課	
		事業目的	変更(ある場合)		
G23	市民が安全で安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ環境の充実に努める。				
<p>事業内容</p> <p>・障がい者・高齢者を含む多くの市民が安全・安心して利用できるスポーツ・レクリエーション施設を整備する。</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施・検討	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0			
決算額(千円)	0				
執行率(%)	0.0				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	<p>バリアフリー化への対応は実施済み</p>				
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は出来ていると考える。</p>				
評価の理由	<p>・平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は出来ていると考える。</p>				
今後の方向	<p>市民の誰もが公共施設を安全で安心して利用できるよう修繕時や改修工事などの整備時に「藤沢市公共建築ユニバーサルデザインマニュアル」に基づき整備する。</p>				
H28年度事業計画	<p>平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化への対応は実施済みのため予定無し。</p>				
課題・問題点	<p>・スポーツ施設の老朽化や経年劣化が進む中で、今後は大規模改修工事及び公共施設再整備プランにおける事業を実施する中で、バリアフリー化された整備を行う必要がある。</p>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	スポーツ推進課	
G24	スポーツノーマライゼーション事業	生涯学習部	スポーツ推進課	変更(ある場合)		
<p>事業目的 スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利という理念を踏まえ、障がいの有無にかかわらず、スポーツ活動に参加できる機会を確保する。</p> <p>事業内容 障がい者と健常者が共にスポーツを楽しむ観点から、積極的なスポーツのノーマライゼーションを推進する。又、活動の支えとなる指導者・ボランティアの育成に取り組む。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施・検討		→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0	0			
決算額(千円)	0					
執行率(%)	0.0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	ノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行う。					次年度 継続
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・「スポーツのノーマライゼーション理念の実現のため、障がい者の無にかかわらず、すべての人が同じフィールドに身を置きスポーツを親しめるためのノーマライゼーション事業について、藤沢市スポーツ推進計画に位置づけを行った。</p> <p>・福祉部などの関係部門及び関係者との連携を進めながら、障がい者の方々のニーズに的確に対応する。また組織化への気運が高まった際には、組織化へ向けての支援・アドバイスをを行う。</p>					評価 B
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p> <p>・市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p>					評価 B
<p>課題・問題点 ・スポーツ関係団体のホームページの充実指導。</p>						

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	スポーツ推進課	
G31	生涯スポーツ活動推進事業	生涯学習部	スポーツ推進課	変更(ある場合)		
<p>事業目的 健康寿命の延伸など、市民の健康意識の高まる中、子どもから高齢者まで気軽に利用、参加できるスポーツ・レクリエーションの機会の提供を、さらに充実させる。</p> <p>事業内容 ・いつでもどこでも、だれでもいつまでも「スポーツ活動」に親しむことができるよう、市民のスポーツニーズを的確にとらえ、多くの市民が多様なスポーツを楽しむことができる事業を企画し提供する。 ・スポーツや健康に関する意識の向上を図る。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施・検討		→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	1,120				
決算額(千円)	0					
執行率(%)	0.0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	年間スポーツ施設利用者数 1,372,790人					次年度 継続
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・スポーツ施設予約システムとして、公民館と連携した市民が利用しやすいシステムが導入され2年目を迎え、円滑に市民に供されている。</p> <p>・スポーツ事業や講座の開催内容について、広報ふじさわへ掲載し、広く市民へ周知した。</p>					評価 B
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p> <p>・市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p>					評価 B
<p>課題・問題点 ・スポーツ関係団体のホームページの充実指導。</p>						



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	地域特性活性化推進事業	担当部	生涯学習部		
			担当課	スポーツ推進課		
		事業目的				
		変更(ある場合)				
G34	江の島や湘南海岸など本市の地域特性を活かし、ビーチバレーボールや市民マラソン大会などのスポーツイベントを開催し、複数自治体や関係機関と連携・協働した取組や仕組みづくりを構築し、地域特性を活かしたスポーツ活動の推進を行う。					
		事業内容				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ビーチバレーボール大会(ビーチバレージャパン・県中学及び全国中学ビーチバレーボール大会)を開催し、ビーチバレー発祥の地というブランドを広く市内外に発信し、観るスポーツの提供やビーチバレーボールの普及拡大に取り組む。</li> <li>江の島を主会場として海岸線をコースとした市民マラソン大会を開催し、多くの市民が参加できるようにする事業展開を取り入れ、魅力ある冬季のスポーツイベントとして取り組む。</li> </ul>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施		→	→	→	→	→
予算額(千円)	11,000	12,000				
決算額(千円)	10,822					
執行率(%)	98.4					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	参加チーム数 ビーチバレージャパン64チーム、全国中学生大会80チーム					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>湘南藤沢の地域特性を活かしたスポーツ活動を推進するため、各種ビーチバレー大会を実施</li> <li>全国中学生ビーチバレー大会において、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認を受けている。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国中学生ビーチバレーについては、全国から広く参加していただくため、都道府県の教育委員会及びハレボール協会への継続した周知活動を行う。</li> <li>全国中学生ビーチバレーにおいて、大会を継続して開催することにより、「ビーチバレー国内発祥の地」として全国に中学生のビーチバレーの普及推進を図るとともに、クリニックを開催し、技術向上と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運を高め</li> </ul>				
		<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第30回ビーチバレージャパン 開催月: 8月(3日間)(予定)</li> <li>第10回神奈川県川島中学生ビーチバレー大会 開催月: 7月(1日間)(予定)</li> <li>第7回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会 開催月: 8月(2日間)(予定)</li> </ul>				
課題・問題点		<ul style="list-style-type: none"> <li>全国中学生ビーチバレー大会について、全国全てのブロックから参加チームが集まっていないので拡充方法を検討したい。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	多文化共生推進事業	担当部	企画政策部		
			担当課	平和国際課		
		事業目的				
		変更(ある場合)				
711	子どもたちを中心とした国際交流の場を提供し、外国人と日本人の子どもたちの交流や多文化への理解を図る。					
		事業内容				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動する日本語教室の先生や大学生等が、小中学生を対象とした交流会を企画して、子どもたちを中心に多文化交流を行う。</li> </ul>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
参加者数 100人		→	→	→	→	→
予算額(千円)	100	100				
決算額(千円)	100					
執行率(%)	100.0					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	参加者数 274人					
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第6回MINTOMO交流会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>*12/5 10:00~15:00 湘南台公民館</li> <li>*参加者274人(外国人市民67人、一般市民等174人、ステージ出演者33人)</li> <li>*従事者60人(日本語教室スタッフ、大学生、PTAなど)</li> <li>*スペイン語の歌、南米の踊り、フォークダンス、日本の音遊び、工作、餅つき等を行った。</li> </ul> </li> <li>地域の国際交流イベントとして事業が定着し、毎年事業を楽しみに参加している方や、外国人の参加者が増えてきたため。</li> <li>外国人市民と一般市民と一般市民が互いの文化を通して交流をすることができたため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人市民と一般市民との交流を図るため、交流会の内容や周知方法を検討していく。</li> </ul>				
		<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>MINTOMO交流会実行委員会へ業務を委託し、「第7回MINTOMO交流会」を開催する。</li> </ul>				
課題・問題点		<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会全体を通して、参加者どうしの交流や多文化への理解を図ることが目的なので、全てのプログラムに参加してもらえないよう、内容や周知方法を工夫する。</li> </ul>				



平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部	青少年課	
723	放課後子ども教室推進事業	担当部	担当課	子ども青少年部	青少年課	
事業目的 児童が地域社会の中で健全に育成される環境をつくるため、地域の人材を活用し、放課後児童の安全・安心な居場所(遊び場)を提供して、遊び体験や異年齢児童間の交流等により、児童の健全育成を推進する。						
事業内容 小学校の余給教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する。 ・日時＝原則給食のある月～金曜日の放課後 ・場所＝実施小学校の余給教室・体育館・校庭 ・対象＝実施小学校学区在住の児童						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	2,946					
決算額(千円)	2,754					
執行率(%)	93.5					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	鶴井野小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 6,135人 小糸小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 2,566人					
度末の成果						
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴井野小学校区、小糸小学校区の2小学校区で事業を実施するとともに、子ども子育て支援事業計画に基づき、当事業の拡充について検討を進めた。</li> <li>・鶴井野小学校 181日 6,135人</li> <li>・小糸小学校 186日 2,566人</li> </ul>					
		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施した小学校区においては、地域の大人の見守りにより、放課後児童に安心・安全な居場所(遊び場)を提供できたため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設の2小学校区で事業を継続する。</li> <li>・国の「放課後子ども総合プラン」に基づく一休型を中心とした放課後児童クラブと放課後子ども教室の推進を図るため、平成31年度までの整備目標等を具体的に位置付け、教育委員会等と協議をほかりながら取り組むこととする。</li> </ul>				
		<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き鶴井野小学校区、小糸小学校区の2小学校区で事業を実施する。</li> <li>・子ども子育て支援事業計画に基づき、放課後児童クラブと一休型等の放課後子ども教室の整備について検討を進める。</li> </ul>				
課題・問題点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子ども・児童の安全・安心な居場所が未設置の学区について放課後子ども教室を含めた子ども居場所づくりの検討が必要である。</li> <li>・当事業の拡充にあたっては、学校施設を活用するため、学校の再整備計画や余給教室の増設の活用など、教育委員会との十分な調整が必要である。</li> <li>・事業実施には学校・地域の協力が不可欠である。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育振興部	学校教育企画課	
724	学校・家庭・地域連携推進事業	担当部	担当課	教育振興部	学校教育企画課	
事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。						
事業内容 ・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託を行い、中学校区を基本に市内に設置された15の地域協力者会議において、各地区の実情に応じた子どもたちの健やかな成長を支援する事業を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
参加者総数	33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人	
●PTA育成事業の実施(業務委託、研修会等の開催)						
予算額(千円)	5,574					
決算額(千円)	5,480					
執行率(%)	98.0					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<p>「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人 PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施</p>					
度末の成果						
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。</li> <li>*1 会長会の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等)</li> <li>*各地域事業総数 119事業</li> <li>*各地域事業・会議等参加者数 33,390人</li> <li>*地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合っていること、実施事業に活かした。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。</li> <li>*広報紙の発行 年3回(7月 11月 3月)</li> <li>*各校PTA活動状況調査の実施</li> <li>*講演会の実施</li> <li>「PEP TALK!子どもたちのやる気を起こす魔法の言葉」</li> <li>・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回</li> <li>・地域の教育力向上を図る事業を実施</li> <li>*ふじさわ教育フォーラムの開催</li> <li>「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」</li> <li>3/5 13:30～16:20 湘南NDビル</li> </ul>					
		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおりの事業を行うことができた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。</li> <li>・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業について、周知を図る。</li> </ul>				
		<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。</li> <li>・藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース)</li> <li>・学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。</li> </ul>				
課題・問題点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。</li> <li>・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業に、より多くのPTAが参加できるように工夫する。</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
725	男女共同参画推進事業	企画政策部	人権男女共同参画課					
事業目的 政策方針決定過程への男女共同参画の推進 ・男女が平等に働くことができる労働環境の整備 ・地域での男女共同参画の推進				変更(ある場合) ふじさわ男女共同参画プラン2020の改定に伴い、年次ごとの目標値を変更。平成32年度までに女性登用比率50%とする。(H28)				
事業内容 女性にとっても男性にとっても、性別にとらわれないこと、社会のあらゆる分野の活動に参画できる機会の確保のため、すべての市民に対し、意識啓発と情報提供を行う。				女性登用比率42%				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				女性登用比率 50%				
予算額(千円)	8,592	4,642						
決算額(千円)	7,269							
執行率(%)	84.6							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	平成27年4月1日時点で審議会等の女性登用率(年次ごとの目標値)が42.0%となり目標を達成した。		評価		H27年度の総合評価		次年度 継続	
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・計画どおり、市民センター・公民館長から推薦された各地区3人からなる「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動を行った。 ・意識啓発のため様々なテーマで講演会を行った。共に生きるフォーラムふじさわ(ワーク・ライフ・バランス)79名、2市1町講演会(ワーク・ライフ・バランス)89名、人権男女共同参画啓発セミナー(セクハラ・パワハラ防止)113名、DV研修(DV加害者対応)64名が参加。 ・DV相談窓口案内カード12,000枚の配布により、相談窓口の周知を図った。 ・男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行、男女共同参画週間でのパネル展開催で各種情報提供を行った。				H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・計画どおり、市民センター・公民館長から推薦された各地区3人からなる「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動を行った。 ・意識啓発のため様々なテーマで講演会を行った。①11月17日 高浜中学校・浜見小学校合同 ②11月19日 鶴沼中学校・鶴沼小学校・鶴沼小学校合同 ③12月22日 片瀬小学校・新林小学校合同 ・地震の際に、どこにいても安全な場所を自ら探して身を守ることができる子どもを育てるための防災教育や避難訓練の方法について研修を実施した。				
市民意識調査によると、社会全体で男性が優遇されていると感じる市民が割を超えており、5年前から改善されていない点。				課題・問題点 ・合同開催は学校間の日程調整が困難である。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
811	学校安全対策事業(防災・防犯教育)	教育指導課	教育指導課					
事業目的 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。				変更(ある場合) 変更				
事業内容 「児童生徒の自衛に立つた防災教育」をテーマとした講演会等を実施し、防災を考える上で児童生徒に効果的な授業提案及び各学校の実情に応じた学校防災計画や避難訓練に対する助言を行う。				H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・矢崎良明氏(板橋区教育委員会 安全教育専門員)による防災講演会を年間3回行った。 ①11月17日 高浜中学校・浜見小学校合同 ②11月19日 鶴沼中学校・鶴沼小学校・鶴沼小学校合同 ③12月22日 片瀬小学校・新林小学校合同 ・地震の際に、どこにいても安全な場所を自ら探して身を守ることができる子どもを育てるための防災教育や避難訓練の方法について研修を実施した。				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				3校 → 3校 →				
予算額(千円)	90	90						
決算額(千円)	90							
執行率(%)	100.0							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	9校で実施したが、他の学校の職員にも来ても実施できた。		評価		H27年度の総合評価		次年度 継続	
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果) ・3回実施し、7校の教職員が受講した。				H28年度事業計画 ・防災講演会を行っていない学校のつら、海に近い南部から行っていく。				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
812(122)	教育文化センター研究研修事業	教育部	学校企画課					
<p>防災教育と人と自然とのかわりな多面的にとらえ、他の教科・領域等との連携を図りながら、防災教育の充実を図る。</p> <p>事業目的 防災教育を多面的にとらえ、様々な教科・領域等との連携を図り、専門的・技術的事項の調査研究並びに教育関係職員に対して研修講座等を企画・実施する。 (「防災と自然」研究部会の開催・研究報告書の発行、防災教育に関する研修講座の開催・防災教育情報の提供)</p> <p>事業内容 ・藤沢市教育文化センターにおいて、防災教育に関する調査研究並びに教育関係職員に対して研修講座等を企画・実施する。 ・「防災と自然」研究部会の開催・研究報告書の発行、防災教育に関する研修講座の開催・防災教育情報の提供</p>								
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				H27年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座	H28年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座	H29年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座	H30年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座	H31年度 ●研究部会12回 月1回の部会開催 年1回の研修講座
予算額(千円)	39,259	576						
決算額(千円)	38,706							
執行率(%)	98.6							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果</p>				<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究部会12回</li> <li>●研修講座1回</li> <li>●防災と自然に関するアンケート実施(抽出席)</li> <li>●防災教育に関する公開授業及び講演会に参加(湘洋中学校)</li> </ul>				
<p>評価</p>				<p>H27年度の 総合評価</p> <p>B</p>				
<p>評価の理由</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災と自然に関するアンケートを実施し、地域や年齢による傾向等、市内の子どもの実態をつかむことができ、研究に反映した。</li> <li>●藤沢市の防災と自然に関する実態調査(アンケート)から得られた結果の集計や分析を行ったことを受け、各研究員の取り組みに活かす。また、研究の成果を研究報告書にまとめ、市内教職員へ情報発信を行う。</li> </ul>				
<p>今後の方向</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●藤沢市の防災と自然に関する実態調査(アンケート)から得られた結果の集計や分析を行ったことを受け、各研究員の取り組みに活かす。また、研究の成果を研究報告書にまとめ、市内教職員へ情報発信を行う。</li> </ul>				
<p>H28年度事業計画</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●研究部会12回</li> <li>●研修講座1回</li> <li>●研究報告書発行</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
821(323)	学校施設改築・大規模改修事業 (老朽化解消)	教育部	学校施設課					
<p>学校施設(校舎・屋内運動場等)の老朽化を解消し、安全で良質な教育環境を確保する。</p> <p>事業目的 ・藤沢市学校施設整備基本方針に基づく学校施設整備計画を策定する。 ・再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力調査の実施並びに調査結果に基づき施設の改築または大規模改修を実施する。</p> <p>事業内容 ・藤沢市学校施設整備基本方針に基づく学校施設整備計画を策定する。 ・再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力調査の実施並びに調査結果に基づき施設の改築または大規模改修を実施する。</p>								
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				H27年度 ●学校施設再整備計画の策定 ●耐力調査の実施 21校	H28年度 ●改築または大規模改修事業着手 6校	H29年度 ●改築または大規模改修事業着手 6校	H30年度 ●改築または大規模改修事業着手 6校	H31年度 ●改築または大規模改修事業着手 6校
予算額(千円)	62,511	55,955						
決算額(千円)	50,112							
執行率(%)	80.2							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果</p>				<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校施設再整備第1期実施計画を策定した。</li> <li>●小学校4校、中学校2校について耐力調査を実施した。</li> <li>●小学校4校、中学校2校について耐力調査を実施した。</li> <li>●小学校4校(校舎棟及び屋内運動場) 鶴南小学校 辻堂小学校 片瀬小学校 鶴洋小学校</li> <li>●中学校2校 鶴沼中学校(校舎棟) 六会中学校(屋内運動場)</li> </ul>				
<p>評価</p>				<p>H27年度の 総合評価</p> <p>B</p>				
<p>評価の理由</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画通り実施した。</li> <li>●今後の方向 ・本計画及び今年度策定した「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</li> </ul>				
<p>H28年度事業計画</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校4校 明治小学校 大漕小学校 鶴沼小学校 長後小学校</li> <li>●中学校1校 明治中学校</li> </ul>				

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 822(338)	事業名 防災対策事業(津波対策)	担当部 担当課	教育部 学校施設課
事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎を増築する。			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ●校舎棟(津波避難施設)実施設計	H28年度 ●建設	H29年度 H30年度 H31年度
予算額(千円)	595,445		
決算額(千円)	38,965		
執行率(%)	100.0		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	H27年度のH27年度末の成果 実施設計を実施し、増築工事に着手した。		
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計委託</li> <li>H26-H27年度の2ヶ年継続事業の2年目として実施設計を行った。</li> <li>増築工事</li> <li>H27-H28年度の2ヶ年継続事業の1年目として増築工事に着手した。</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度については、計画通り実施した。</li> </ul>		
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に工事の進捗管理を行い、工期内に竣工する。</li> <li>竣工期限:2017年(H29年)2月28日</li> </ul>		
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ヶ年継続事業の最終年度として、工事を実施する。</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 823	事業名 防災資機材等の整備事業	担当部 担当課	総務部・教育部 防災危機管理室・教育総務課
事業目的 防災資機材の整備		変更(ある場合)	
事業内容 命を守る教育環境の整備のため、市立小・中・特別支援学校を南・中部・北部の三地区に分け、災害発生時に必要な学校用飲料水の備蓄を行う。			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ●飲料水の備蓄	H28年度 市内北部地区にある市立小・中・特別支援学校	H29年度 市内中部地区にある市立小・中・特別支援学校
予算額(千円)	1,828	872	
決算額(千円)	831		
執行率(%)	45.5		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH27年度末の成果	H27年度のH27年度末の成果 中部地区にある市立小・中学校用飲料水(11,328本)の備蓄		
H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27年度進捗状況(今年度の効果・成果)</li> <li>中部地区にある小学校13校、中学校6校、合計19校に災害時用の飲料水として、1人当たりペットボトル1本(500ml)×児童生徒分の備蓄を行った。</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初計画通り備蓄することが出来た。</li> </ul>		
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に備蓄したのについても保存期限(5年)があるため、今後も計画的に飲料水の備蓄を実施していく。</li> </ul>		
H28年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年度事業計画</li> <li>北部地区の市立小・中学校に対し、飲料水を備蓄する予定。</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・問題点</li> </ul>		

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 824	事業名 通学路安全対策推進事業	担当部 教育部・市民自治部・土木部	担当課 学務保健課・防犯交通安全課	事業目的 通学路安全対策推進事業 (子ども110番・安全マップ)	市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合) 変更(ある場合)
<p>小学校の通学路における交通安全の確保を図るため、学校・警察等との連携のもと市立小学校の通学路の合同点検を行い、安全対策を実施する。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校による危険箇所の抽出</li> <li>・合同点検の実施</li> <li>・点検結果に基づき対策の検討、策定</li> <li>・対策の実施</li> </ul>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)					
決算額(千円)					
執行率(%)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	<p>「藤沢市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携して合同点検を行い、安全対策を実施</p>				
度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市通学路交通安全プログラム」に基づき報告のあった危険箇所について、関係機関と連携して合同点検を実施し、安全対策を実施した。</li> <li>・報告危険箇所数 182箇所</li> <li>・合同点検実施箇所数 75箇所</li> <li>・対策要望件数 202件(うち市の対策分 114件)</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から報告された危険箇所について、学校・教育委員会、道路管理者、警察等関係機関が連携し、合同点検と安全対策の検討を行い、安全対策を実施して、通学路の安全確保が図られた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも、小学校の通学路の安全を確保するため、関係機関と連携し、合同点検を行い、通学路の安全対策を実施する。</li> </ul>					
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から通学路の危険箇所の報告を受け、合同点検を行い、点検結果に基づき対策を策定し、安全対策を実施する。</li> </ul>					
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関が実施する安全対策については、それぞれの機関の予算、事業計画によるため、進捗管理については各機関に委ねざるを得ない。</li> </ul>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 825(832)	事業名 学校防犯対策強化事業 (子ども110番・安全マップ)	担当部 市民自治部・教育部	担当課 防犯交通安全課	事業目的 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する	市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合) 変更(ある場合)
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、昼間在宅されているお宅やお店に子ども110番の看板の掲示を依頼する。</li> <li>・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。</li> <li>・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。</li> </ul>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	15校				
決算額(千円)	922				
執行率(%)	789				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	<p>●地域安全マップ指導員養成講座の開催</p> <p>実施延べ校数 17校</p> <p>●学校における地域安全マップ作りの推進</p>				
度末の成果	<p>H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番事業について</li> <li>・子ども110番 全体掲示件数5,043件</li> <li>・新規掲示件数131件</li> </ul> <p>昼間在宅されているお宅やお店に、子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として掲示いただいている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について</li> <li>・今年度は小・中学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。</li> <li>●学校における地域安全マップ作りについて</li> <li>・今年度は大鰐小学校、鶴沼小学校で行った。サポーターズクラブと一緒に子どもたちが生活圏を歩き『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。</li> </ul>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組計画どおりの執行を行ったため。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き継ぎ</li> <li>・子ども110番の看板の掲示を依頼する。</li> <li>・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。</li> <li>・学校における地域安全マップ作りを2校ずつ行う。</li> </ul>					
<p>H28年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番の看板の掲示を依頼する。</li> <li>・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催</li> <li>・学校における地域安全マップ作りを行う。</li> </ul>					
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全マップ指導員について、担い手を見つけているのが困難である。</li> <li>・年間指導計画を作成した後に、地域安全マップ作りの希望校が決定するため、開催時期の調整等に困難が生じる。</li> </ul>					

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 831(1219-234-724)	事業名 学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動)	担当部 担当課	教育部 学校教育企画課
子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する		市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合)	
事業目的 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する			
事業内容 中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、防災・防犯活動(地域環境整備事業)や講演会・学習会等の地域の実情に応じた事業を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 参加者総数 33,100人	H28年度 33,200人	H29年度 33,300人
予算額(千円)	5,574	5,574	
決算額(千円)	5,460		
執行率(%)	98.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果	「地域協力者会議」の参加者総数 33,390人		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。</li> <li>・「会長会」の開催 年4回(5/12 8/25 11/17 2/2) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等)</li> <li>・各地域事業総数 119事業</li> <li>・各地域事業、会議等参加者数 33,390人</li> <li>・「一斉ハットロール」子ども安全ネットワーク「学校安全ネットワーク会議」「子どもまもりネットワーク会議」「地域ハットロール」「安全・安心」のほり旗」等の活動を実施した。</li> <li>・地域の教育力向上を図る事業を実施</li> <li>・ふじさわ教育フォーラムの開催</li> <li>・「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」中里小PTA発表「地域の安全のために」に番号機を！」3/5 13:30～16:20 湘南NDビル</li> </ul>			
今後の方向 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換、意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。			
評価の理由 ・計画とおりの事業を行うことができた。			
H28年度事業計画 ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ・学校・家庭・地域の連携協働を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。			

平成27年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 832(825)	事業名 学校防犯対策強化事業(子ども110番・安全マップ)	担当部 担当課	市民自治部・教育部 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合)
子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する			
事業目的 子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する			
事業内容 ・子どもが犯罪などから助けを求めた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、昼間在宅されているお宅やお店に子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施 15校	H28年度 17校	H29年度 17校
予算額(千円)	922	889	
決算額(千円)	789		
執行率(%)	85.6		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH27年度末 の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を開催した。</li> <li>・学校における地域安全マップ作りを2校行っ</li> </ul>		
H27年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番事業について 新規掲示件数5,043件 全体掲示件数131件</li> <li>・風間在宅されているお宅やお店に、子どもが犯罪などから助けを求めた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として掲示いただいている。</li> <li>・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について ・今年度は小・中学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。</li> <li>・学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は大鰐小学校、鶴沼小学校で行った。サポーターと一緒にご子どもたちが生活圏を歩き『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。</li> </ul>			
今後の方向 引き継ぎ ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。			
評価の理由 取組計画とおりの執行を行ったため。			
H28年度事業計画 ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催 ・学校における地域安全マップ作りを2校行う。			